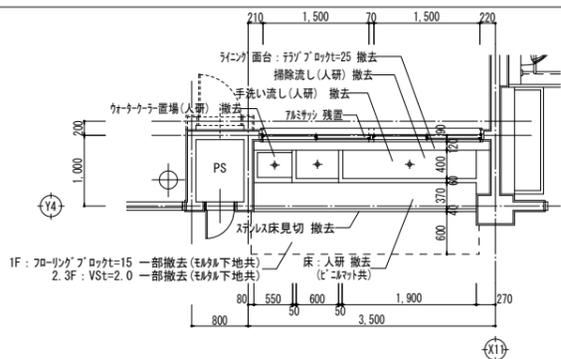
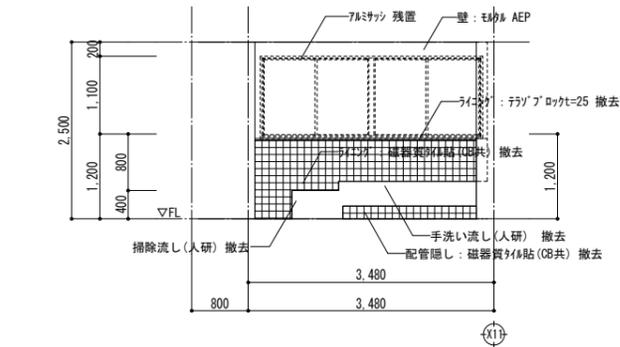


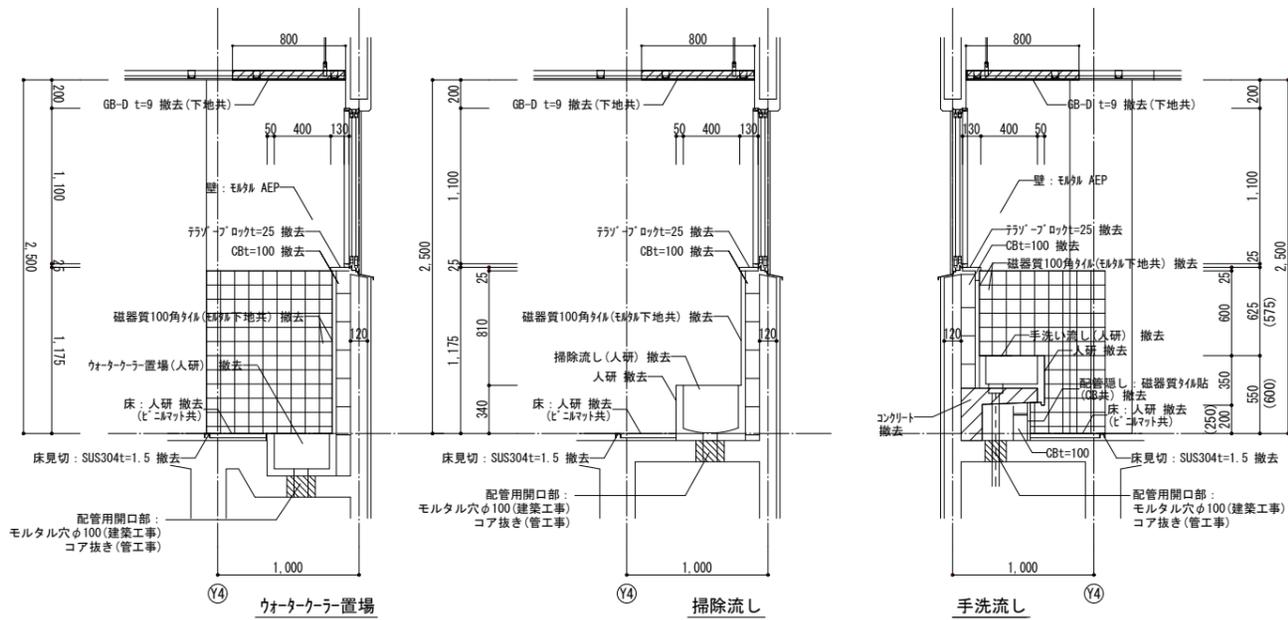
南棟東 手洗い流し詳細図 改修前



南棟東 手洗い流し平面図 S=1/50



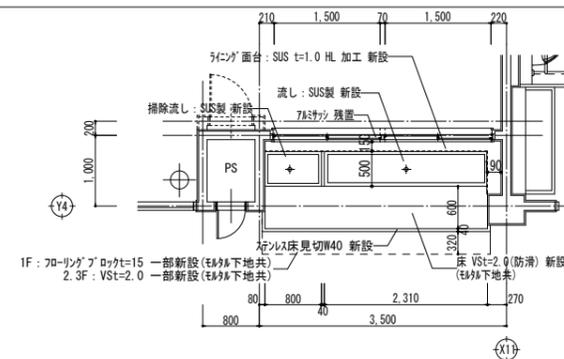
南棟東 手洗い流し展開図 S=1/50



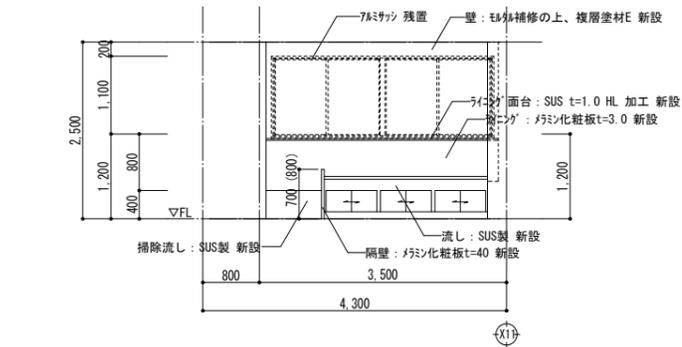
南棟東 手洗い流し断面詳細図 S=1/25

南棟東 手洗い流し詳細図 改修後 1.2階低学年・3階高学年用

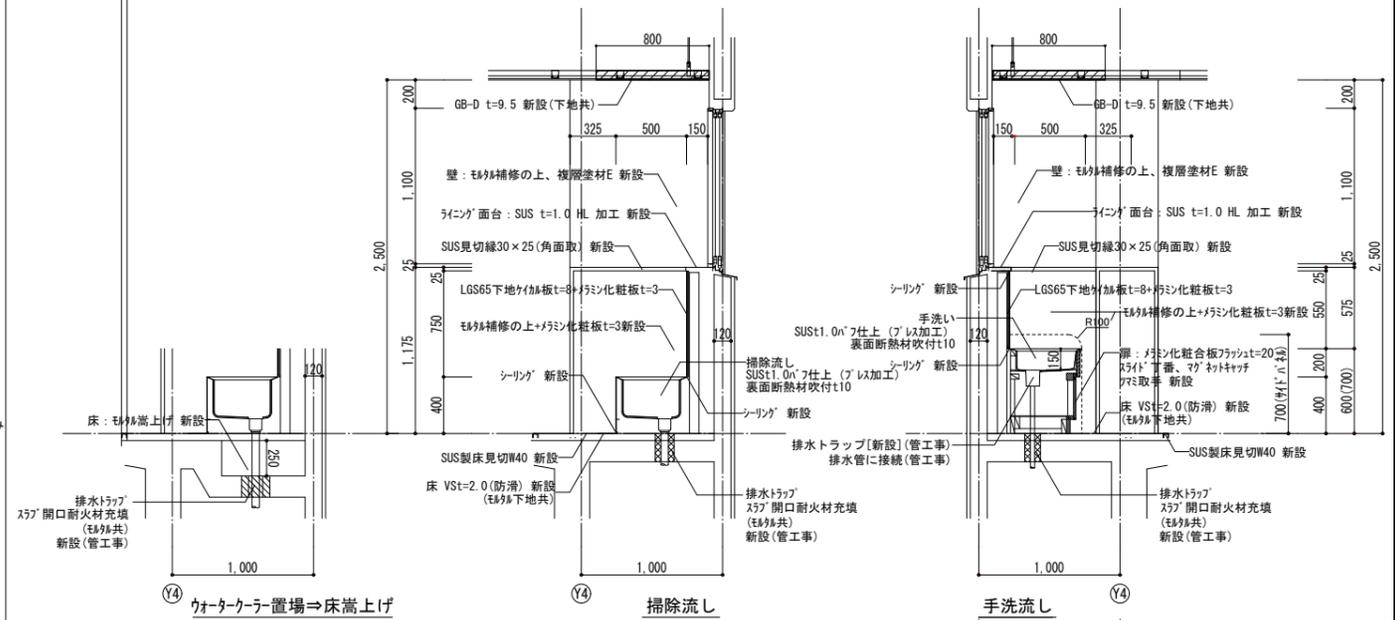
() 内の数字は高学年の手洗い寸法を示す。



南棟東 手洗い流し平面図 S=1/50



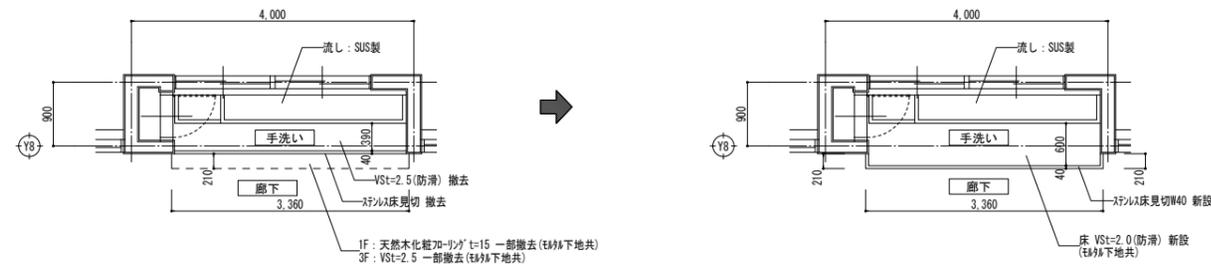
南棟東 手洗い流し展開図 S=1/50



南棟東 手洗い流し断面詳細図 S=1/25

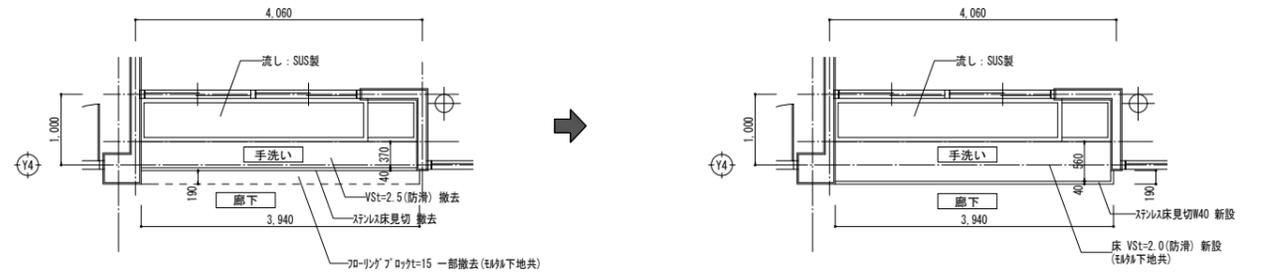
改修前

改修後



改修前

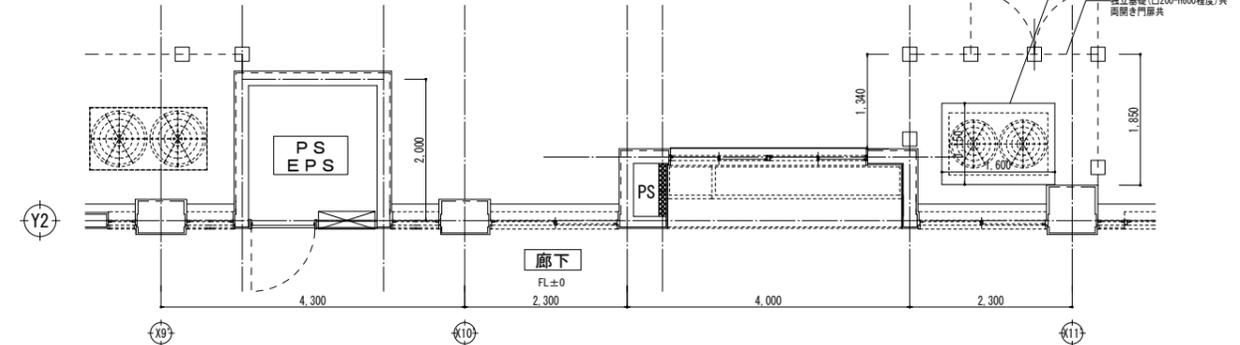
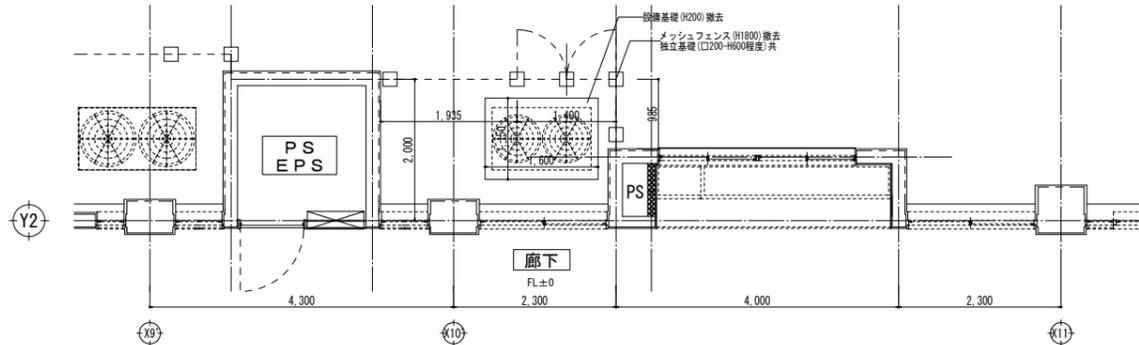
改修後



北棟 室外機廻り詳細図

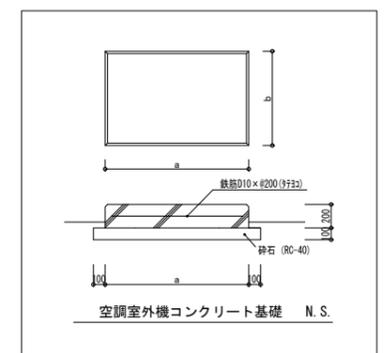
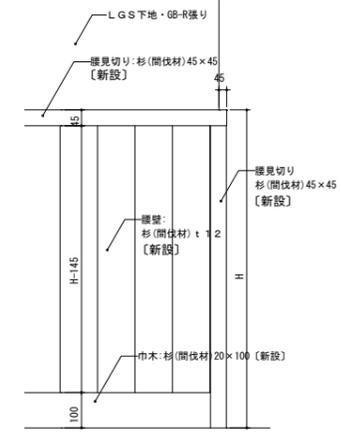
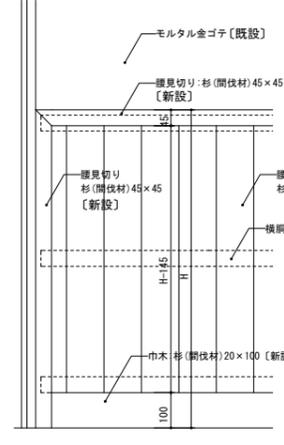
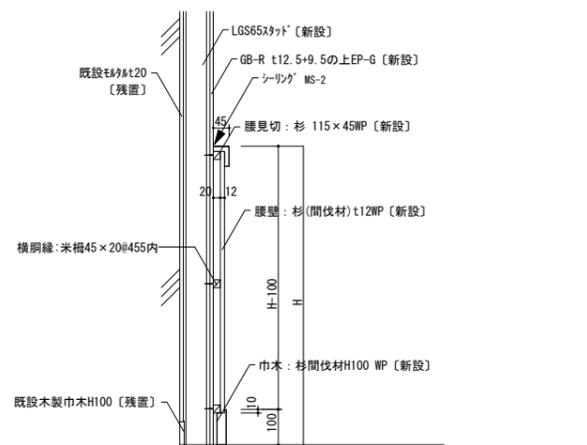
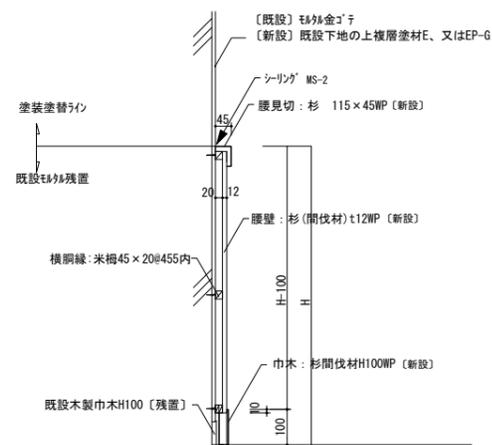
改修前

改修後



廊下腰壁杉板張り

A1:1/5、1/10 A3:1/10、1/20

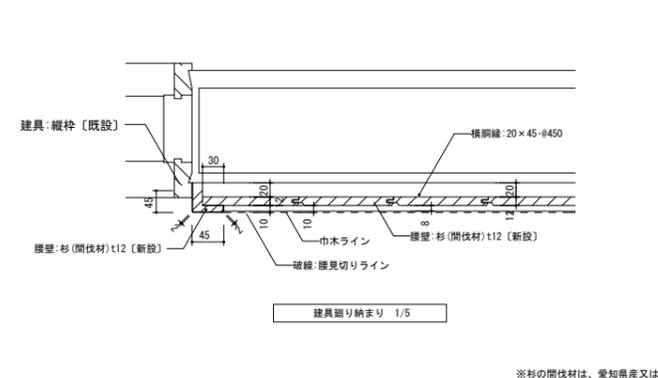
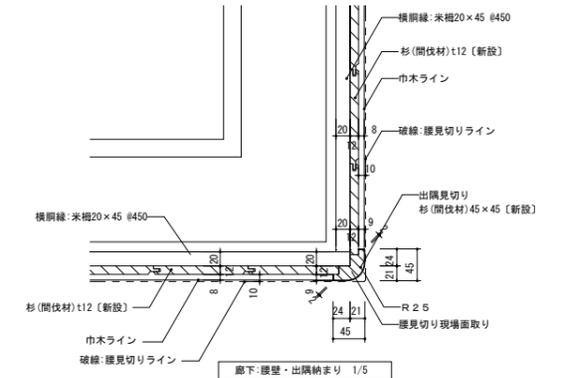
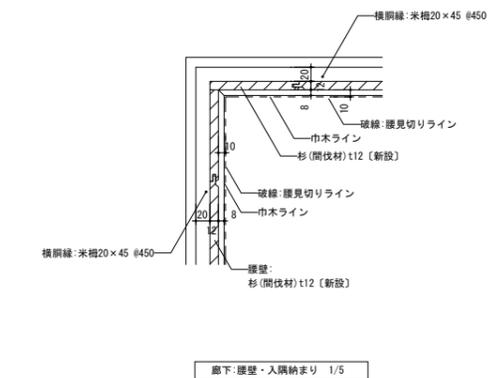


RC壁部分断面詳細図 1/10 ※Hは展開図による

LGS壁部分断面詳細図 1/10 ※Hは展開図による

RC壁部分断面開図 1/10 ※Hは展開図による

LGS壁部分断面開図 1/10 ※Hは展開図による



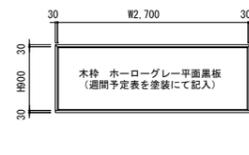
※杉の間伐材は、愛知県産又は福岡県産の間伐材とする。

木枠平面黒板 (普通教室 背面黒板)

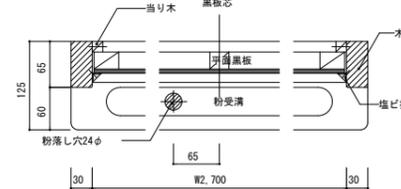
A1:1/5 A3: 1/10

木枠掲示板

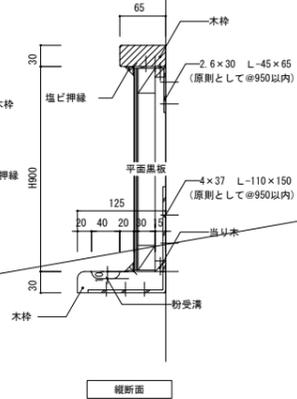
A1:1/5 A3: 1/10



展開図 S=1/50

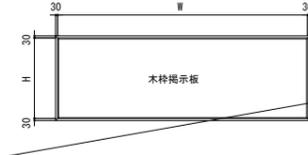


横断面

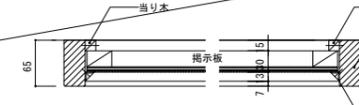


縦断面

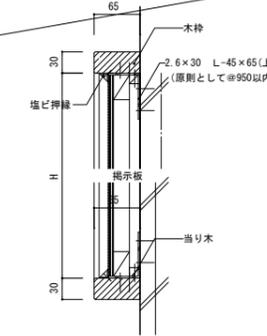
室名	寸法(W×H)	備考	箇所数
北棟 普通教室	W2,700×H900	背面、木枠:WP塗装	2
南棟 普通教室	W2,700×H900	背面、木枠:WP塗装	16
南棟 特別支援教室	W2,700×H900	背面、木枠:WP塗装	4



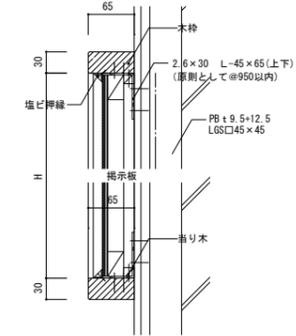
展開図 S=1/50



横断面



縦断面



縦断面

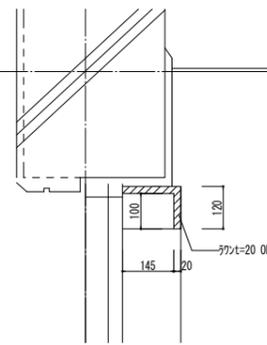
室名	箇所数	寸法(W×H)	備考
北棟 普通教室	2	※	木枠:WP塗装
南棟 普通教室	16	※	木枠:WP塗装
南棟 特別支援教室	4	※	木枠:WP塗装

※各展開図に寸法は合わせる

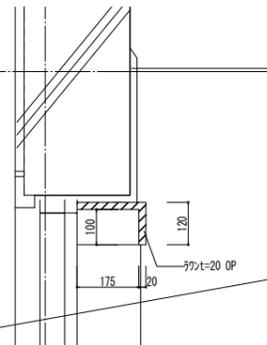
カーテンボックス詳細図

A1:1/10 A3: 1/20

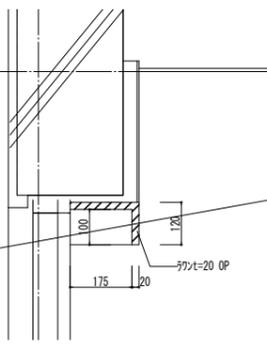
△CH



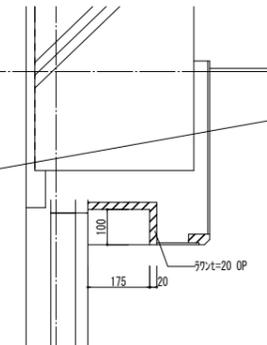
外部側
北棟西



外部側
南棟東



外部側
南棟中

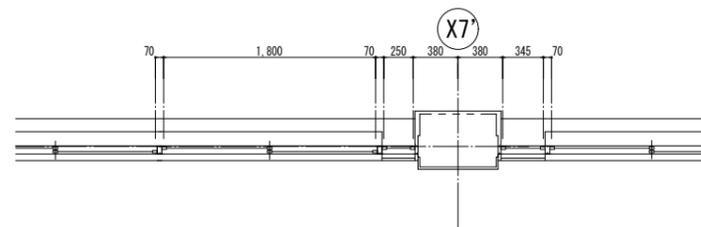


外部側
南棟西

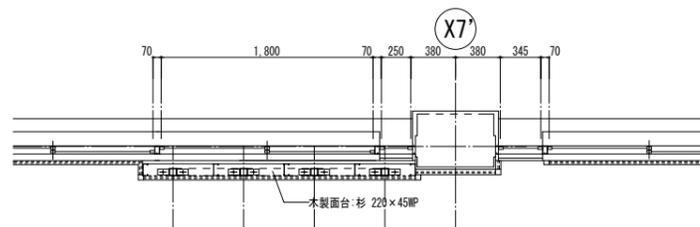
※SOP塗替え

サッシ腰パネル部分:ライニング補強 詳細図

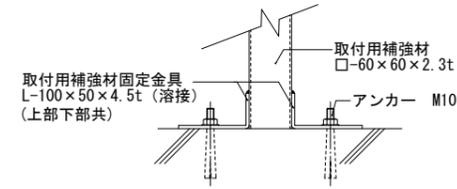
A1:1/30 A3: 1/60



改修前 北棟廊下 平面詳細図 S=1/30

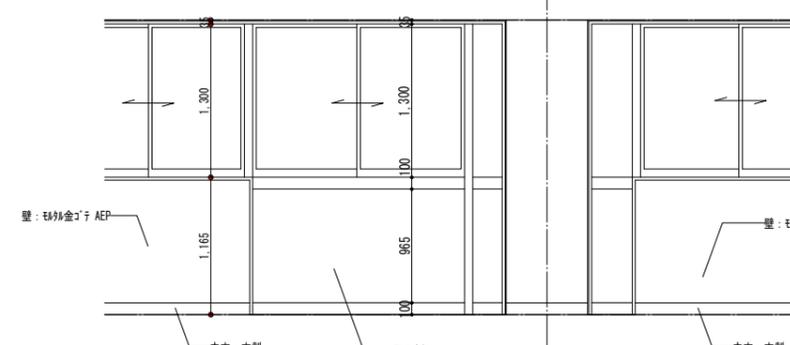


改修後 北棟廊下 平面詳細図 S=1/30

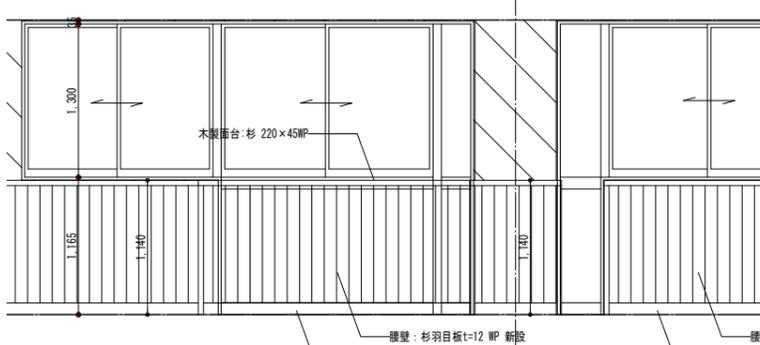


ライニング詳細図 1/5

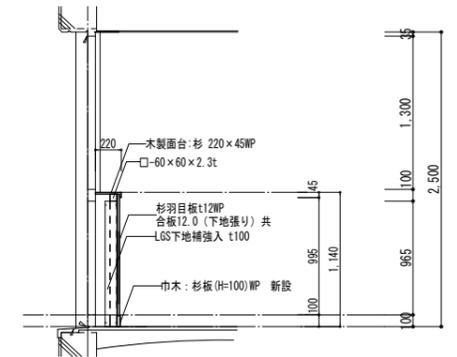
∨:シーリング箇所を示す



改修前 北棟廊下 展開図 S=1/30



改修後 北棟廊下 展開図 S=1/30



改修後 ライニング補強詳細図 S=1/30

・	・
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男建築設計事務所
TCHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL (052) 618-8211 FAX (052) 618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第20234号 早瀬 貴次

設計

整理番号	縮尺
年月日	A1 1/5, 10, 30 A3 1/10, 20, 60

安城北部小学校校舎改修第2期及び保全主体工事
部分詳細図(5)

外部仕上表		アスベスト含有建材を示す	
棟	部位	改修前	改修後
北棟東	外壁	外壁・柱型・梁型：打放し補修 [複層塗材吹付E(水性)凹凸模様] 梁型(天端)：防水モルタル金ゴテの上 [複層塗材吹付E(水性)]	外壁・柱型・梁型：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 梁型(天端)：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設
	巾木	モルタル目地切 H=600	水洗い、劣化部補修
	バルコニー	床：防水モルタル金ゴテ目地切 手摺壁：打放し補修 [複層塗材吹付E(水性)凹凸模様] 笠木・巾木・側溝：防水モルタル金ゴテ 上裏：コンクリート打放し [複層塗材吹付E(水性)凹凸模様]	床：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2防滑仕様 新設 手摺壁：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 笠木・巾木・側溝：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
	手洗い屋根	屋根：防水モルタル金ゴテの上 [複層塗材吹付E(水性)]	屋根：水洗い、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設
	大庇	見付：打放し補修 [複層塗材吹付E(水性)凹凸模様] 上裏：コンクリート打放し目地切 [複層塗材吹付E(水性)凹凸模様]	見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
	縦樋	VP100φ (SUS製支持金物@1000内外) 撤去 SUS製ドレン・中継ドレン(100φ)	かへVP100φ (掴み金物：ステンレス製@1200内外共) 新設 SUS製ドレン・中継ドレン(100φ)：既設のまま
	外壁	外壁：モルタル刷毛引 アクリルシ吹付 柱型・梁型：コンクリート打放し アクリルシ吹付 梁型(天端)：防水モルタル金ゴテ	外壁・柱型・梁型：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 梁型(天端)：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設
北棟西	巾木	モルタル目地切 H=600	水洗い、劣化部補修
	バルコニー	床：防水モルタル金ゴテ目地切 手摺壁：モルタル刷毛引 アクリルシ吹付 笠木・巾木・側溝：防水モルタル金ゴテ 見付：コンクリート打放し 上裏：コンクリート打放し アクリルシ吹付	床：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2防滑仕様 新設 手摺壁：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 笠木・巾木・側溝：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設 見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
	大庇	見付：コンクリート打放し 上裏：コンクリート打放し アクリルシ吹付	見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
	縦樋	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去 鋳鉄製中継ドレン(100φ)	かへVP100φ (掴み金物：ステンレス製@1200内外共) 新設 鋳鉄製中継ドレン(100φ)：ノンケム球 杉樹脂塗料塗替え
	外壁	外壁：コンクリート打放し アクリルシ吹付	外壁：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設
	巾木	モルタル目地切 H=600	水洗い、劣化部補修
	庇	天端：防水モルタル金ゴテ 見付・上裏：コンクリート打放し補修 アクリルシ吹付	天端：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設 見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
渡り廊下	外壁	外壁：コンクリート打放し アクリルシ吹付	外壁：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設
	巾木	モルタル目地切 H=600	水洗い、劣化部補修
	庇	天端：防水モルタル金ゴテ 見付・上裏：コンクリート打放し補修 アクリルシ吹付	天端：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設 見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
	縦樋	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	かへVP100φ (掴み金物：ステンレス製@1200内外共) 新設
	外壁	外壁：モルタル刷毛引 アクリルシ吹付 外壁(ALC)：アクリルシ吹付	外壁：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 外壁：水洗い、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設
	巾木	モルタル目地切 H=600	水洗い、劣化部補修
	バルコニー	床：防水モルタル金ゴテ目地切 手摺壁：モルタル刷毛引 アクリルシ吹付 笠木・巾木・側溝：防水モルタル金ゴテ 見付・上裏：コンクリート打放し補修 アクリルシ吹付	床：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2防滑仕様 新設 手摺壁：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 笠木・巾木・側溝：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設 見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
南棟東 南棟中 南棟西	大庇・庇	天端：防水モルタル金ゴテ 見付・上裏：コンクリート打放し補修 アクリルシ吹付 アラトホ-ム上裏：ケイ酸カルシウム板t=6.0 アクリルシ吹付	天端：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設 見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
	縦樋	VP100φ (南側は75φ) OP(支持金物@1000内外) 撤去 鋳鉄製ドレン・中継ドレン(100φ・75φ)	かへVP100φ (南側は75φ) (掴み金物：ステンレス製@1200内外共) 新設 鋳鉄製ドレン・中継ドレン(100φ・75φ)：ノンケム球 杉樹脂塗料塗替え
	玄関	幕板：7&Mバネ&t2.0(かへ) 外壁：小口タイル貼り 柱型：7&Mバネ&t2.0(かへ) 軒裏：7&Mバネ&t2.0(かへ)	幕板：DP塗替え (500φ校章サイン共) 外壁：水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水 新設 (大関化学クリアコートeco同等品) 柱型：DP塗替え 軒裏：DP塗替え
	屋外鉄骨階段	鉄部：OP 踊り場 床：防水モルタル金ゴテ 踊り場 見付：モルタル刷毛引 アクリルシ吹付 踊り場 上裏：コンクリート打放し補修 アクリルシ吹付	鉄部：DP塗替え 踊り場 床：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2防滑仕様 新設 踊り場 見付：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコントップコート) 新設 踊り場 上裏：剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
	倉庫	屋根：大波スレート 外壁：CB積 アクリルシ吹付	屋根：DP塗替え 外壁：高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、可とう形改修塗材E(シリコントップコート) 新設
	職員室屋根廻り	屋根 笠木：アルミ笠木W300 平場：露出7&M防水 撤去 立上り：露出7&M防水、端部押さえ金物(シーリング共) ルーフドレン：鋳鉄製ルーフドレン(100φ) 撤去 バルコニー 床：防水モルタル金ゴテ目地切	屋根 笠木：仮撤去復旧 平場：高圧洗浄、膨れ部戻り戻し、下地活性剤(7&M系)の上、ウレタン塗膜防水通気緩衝工法X-1 新設 立上り：下地調整材(※杉樹脂モルタル)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設 ルーフドレン：改修用ドレン(縦)の上、7&Mストレーナー新設、脱気筒新設 バルコニー 床：高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、ウレタン塗膜防水密着工法X-2防滑仕様 新設



外壁仕上塗材アスベスト含有分析調査結果

部位	仕上材	結果
北棟 東 外壁	複層塗材	検出(下地調整材)
北棟 西 外壁	アクリルシ吹付	検出されず
渡り廊下 外壁	アクリルシ吹付	検出されず
南棟 東 外壁	アクリルシ吹付	検出されず
南棟 中 外壁	アクリルシ吹付	検出されず
南棟 西 外壁	アクリルシ吹付 (ALC)	検出されず

外壁仕上塗材既存塗膜付着強度調査結果

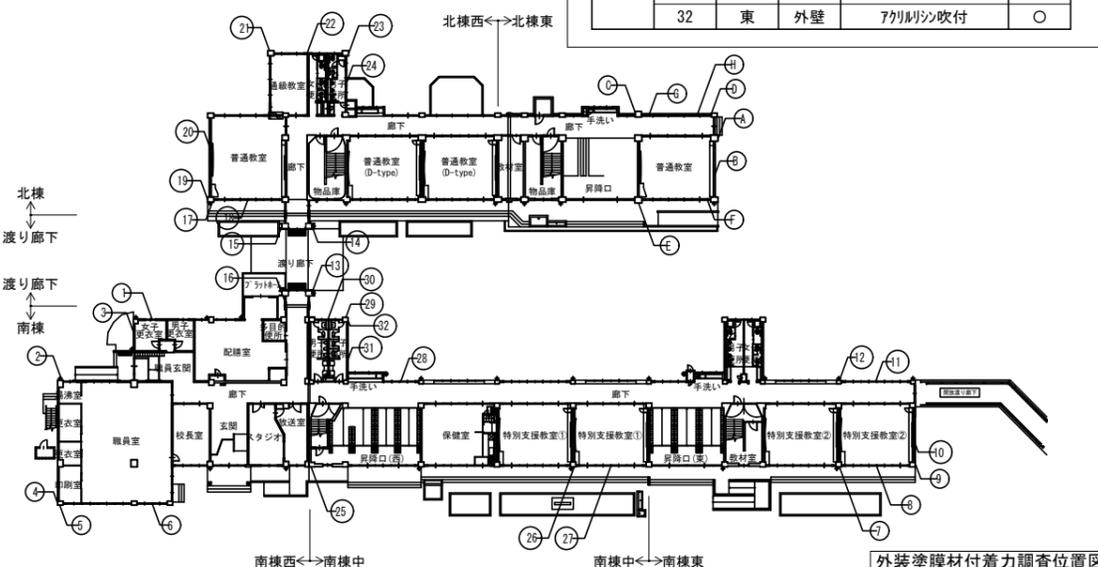
以下の通り、全ての部位について、基準値を満たす強度を確認した。
(符号は調査図の凡例を示す)

令和6年2月 調査

アスベスト含有部 外装塗膜材付着力調査結果					
棟	符号	方位	部位	仕上材	結果
北棟東	A	東	柱	複層塗材吹付E	○
	B	東	外壁	複層塗材吹付E	○
	C	西	柱	複層塗材吹付E	○
	D	西	柱	複層塗材吹付E	○
	E	南	柱	複層塗材吹付E	○
	F	南	外壁	複層塗材吹付E	○
北棟西	G	北	外壁	複層塗材吹付E	○
	H	北	外壁	複層塗材吹付E	○

令和6年3月 調査

アスベスト非含有部 外装塗膜材付着力調査結果						
棟	符号	方位	部位	仕上材	結果	
南棟西	1	北	外壁	アクリルシ吹付	○	
	2	北	柱	アクリルシ吹付	○	
	3	西	外壁	アクリルシ吹付	○	
	4	西	柱	アクリルシ吹付	○	
	5	南	柱	アクリルシ吹付	○	
	6	南	外壁	アクリルシ吹付	○	
南棟東	7	南	柱	アクリルシ吹付	○	
	8	南	外壁	アクリルシ吹付	○	
	9	東	柱	アクリルシ吹付	○	
	10	東	外壁	アクリルシ吹付	○	
	11	北	外壁	アクリルシ吹付	○	
	12	北	柱	アクリルシ吹付	○	
渡り	13	東	柱	アクリルシ吹付	○	
	14	東	外壁	アクリルシ吹付	○	
	15	西	柱	アクリルシ吹付	○	
	16	西	外壁	アクリルシ吹付	○	
北棟西	17	南	柱	アクリルシ吹付	○	
	18	南	外壁	アクリルシ吹付	○	
	19	西	柱	アクリルシ吹付	○	
	20	西	外壁	アクリルシ吹付	○	
	21	北	柱	アクリルシ吹付	○	
	22	北	外壁	アクリルシ吹付	○	
	23	東	柱	アクリルシ吹付	○	
	24	東	外壁	アクリルシ吹付	○	
	南棟中	25	南	柱	アクリルシ吹付	○
		26	南	外壁	アクリルシ吹付	○
27		南	外壁	アクリルシ吹付	○	
28		北	外壁	アクリルシ吹付	○	
29		北	柱	アクリルシ吹付	○	
30		北	外壁	アクリルシ吹付	○	
南棟東	31	東	外壁	アクリルシ吹付	○	
	32	東	外壁	アクリルシ吹付	○	



特記事項

- 既設シーリング(打継部、目地部、建具廻り、金物取合、Exp-J廻り等)は全て打ち替えとする。
- 外壁・軒裏・上裏・屋上・笠木・立上り等は浮き・クラック等の劣化部の補修を行うこと。
(施工前に調査を行い、結果を監督員に報告すること。)
- 特記なき限り、塗装改修・塗装仕上壁の改修等は、公共建築改修工事標準仕様書にある通り、必要な撤去・下地調整を行うものとする。
- 外壁面(吹付面、打放面、軒裏)は高圧洗浄30~50MP(下地調整C-1種)すること。
- バルコニー平場・立上り・笠木、鉄部面、タイル面は高圧洗浄10~15MPすること。
- ALC板 t=100は水洗い(15Mpa)を行うこと。
- 既設塗膜撤去部は補修を行い仕上とする。
- DP塗装の上塗り材はフッ素とする。
- 外部鋼製設備配管、外部鋼製プルボックス、換気パイプ(塩ビ製)はDP(フッ素)塗替とする。
- ウレタン塗膜防水のトップコートは全て遮熱(高反射)シリコン系とする。
- ウレタン塗膜防水はノンスリップタイプとし、防滑性については5号ケイ砂を基本とすること。
- 外壁の塗装についてはローラー塗(マスク)を基本とする。
- 外部足場設置の際は、校舎外壁面の時計、ライト、アンテナ、放送設備等を足場外部へ移設し、足場解体の際に復旧すること。

○外部建具改修

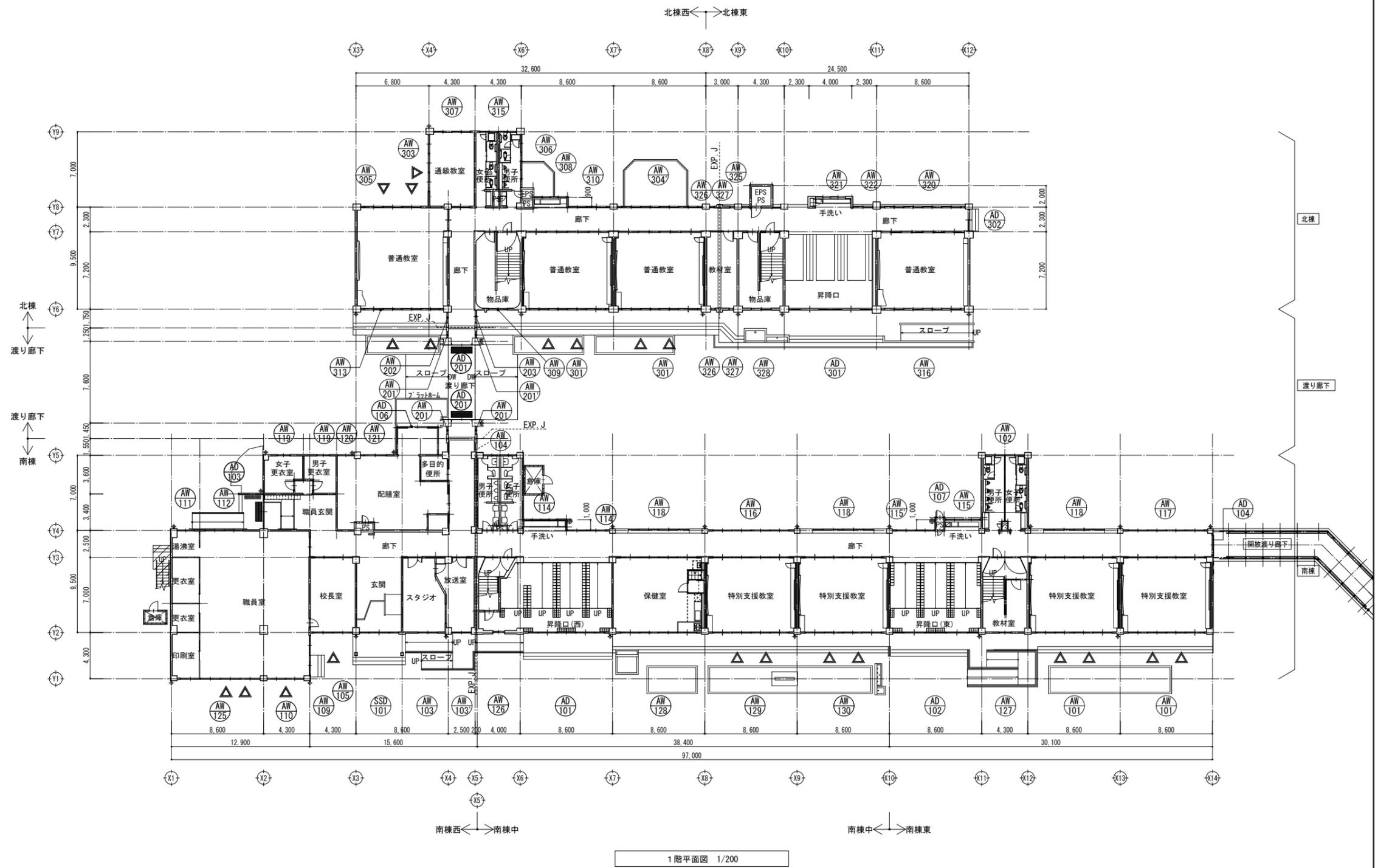
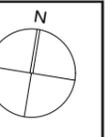
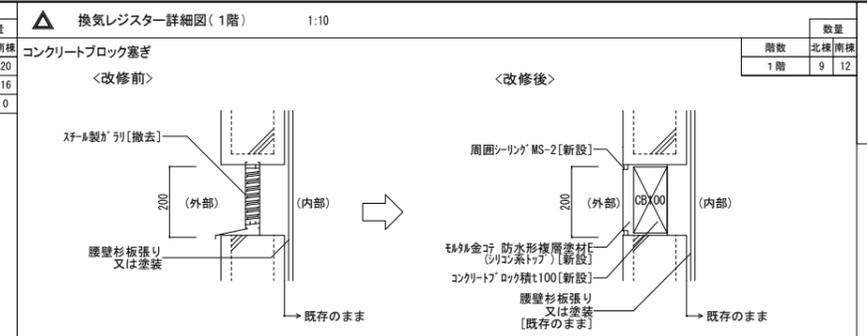
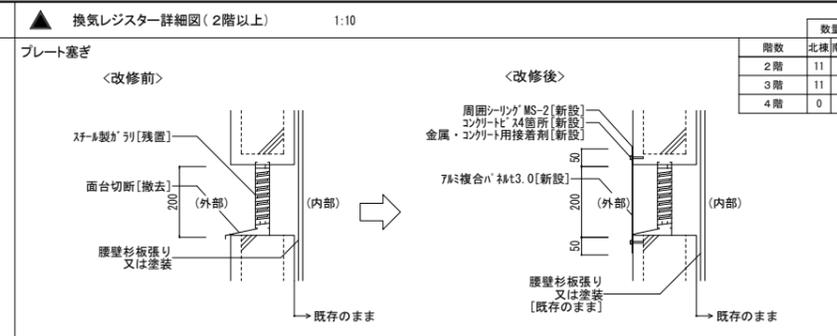
- 金物等(戸車、外れ止め、ケルト、オベレート、ドアロ-ザ-、錠前、ハドル)の更新を行うこと。
- ガラス留めシーリングの改修(両面)を行うこと。
(既存がガラスでもなくてもシーリングで改修すること)
- 鋼製建具は下地調整R種の上、DP(フッ素)塗替を行うこと。
- 特記なき限り、防水形複層塗材、可とう形改修塗材のシリコントップコートは耐水性1種(セラミックシリコン)とする。

改修凡例		
改修範囲	改修対象	
	バルコニー改修 庇改修	防水改修
	鉄骨階段改修	塗装改修

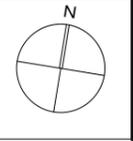
	改修建具
	レジスターガラリ(2階以上) 水切りのみ撤去(ガラリ残置)の上、 補修(プレート塞ぎ)
	レジスターガラリ(1階) ガラリ撤去の上、補修(OB塞ぎ)
	縦樋撤去新設
	通気管撤去

外壁改修共通特記

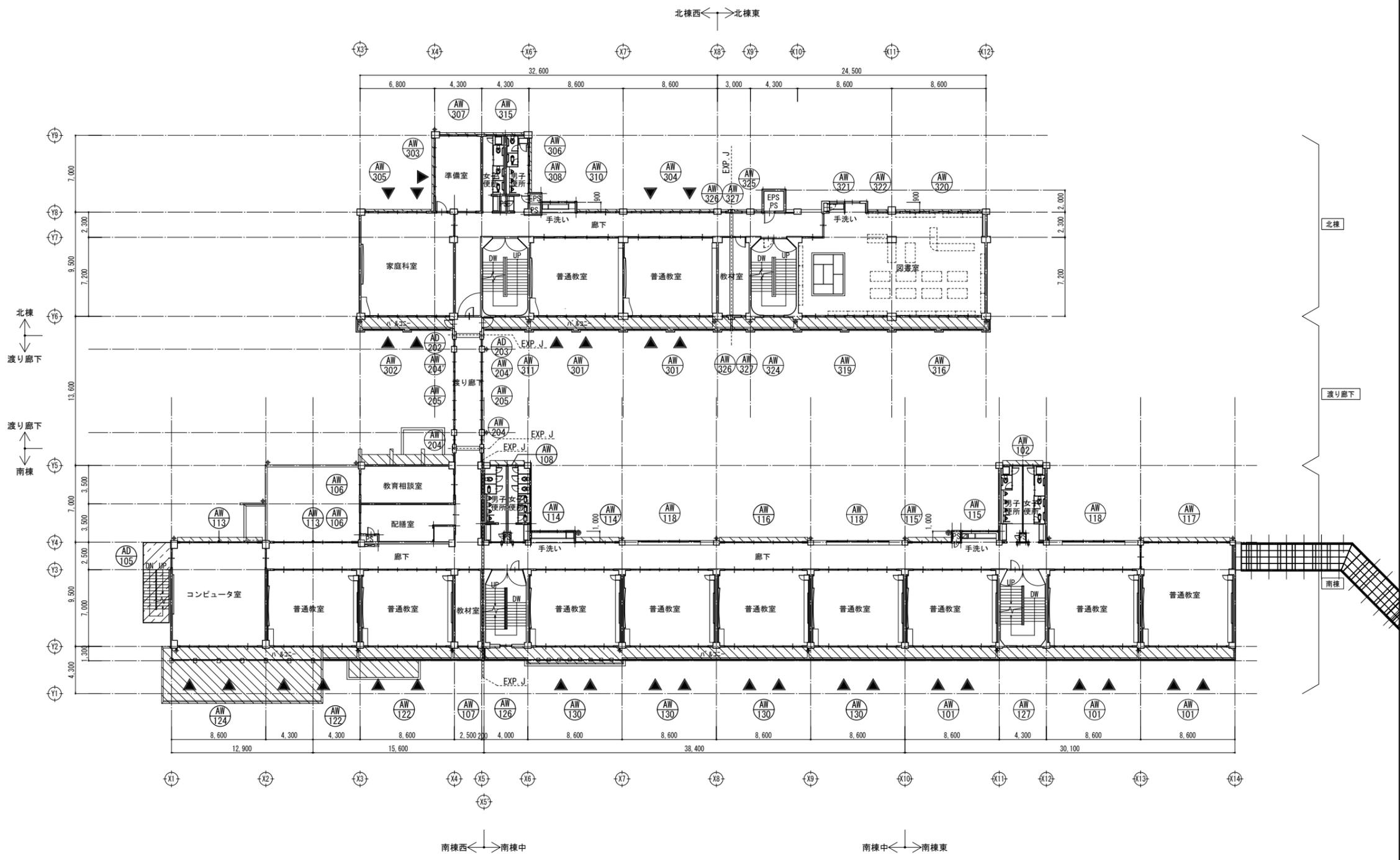
- 壁、梁型モルタルのクラック、浮きは工事前に調査及び報告を行い、調査に基づいて工事を行うこと。
- クラック、浮きの補修についてはそれぞれ樹脂注入工法、アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法にて補修を行う。



改修凡例			
改修	改修範囲	改修対象	
改修		ハコ-改修 庇改修	防水改修
		鉄骨階段改修	塗装改修

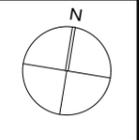


	改修建具
	レジスターガラーリ (2階以上) 水切りのみ撤去 (ガラーリ残置) の上、 補修 (プレート塞ぎ)
	レジスターガラーリ (1階) ガラーリ撤去の上、補修 (08塞ぎ)
	壁礎撤去新設
	通気管撤去



2階平面図 1/200

改修凡例		
改修範囲	改修対象	
	HPC改修 庇改修	防水改修
	鉄骨階段改修	塗装改修



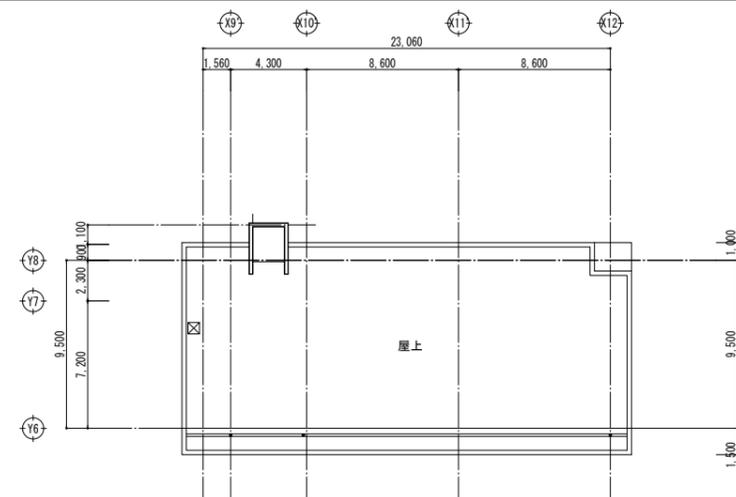
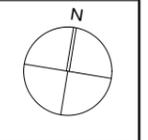
	改修建具
	レジスターガラリ (2階以上) : 水切りのみ撤去(ガラリ残置)の上、 補修 (アト塞ぎ)
	レジスターガラリ (1階) : ガラリ撤去の上、補修 (CB塞ぎ)
	堅礎撤去新設
	通気管撤去



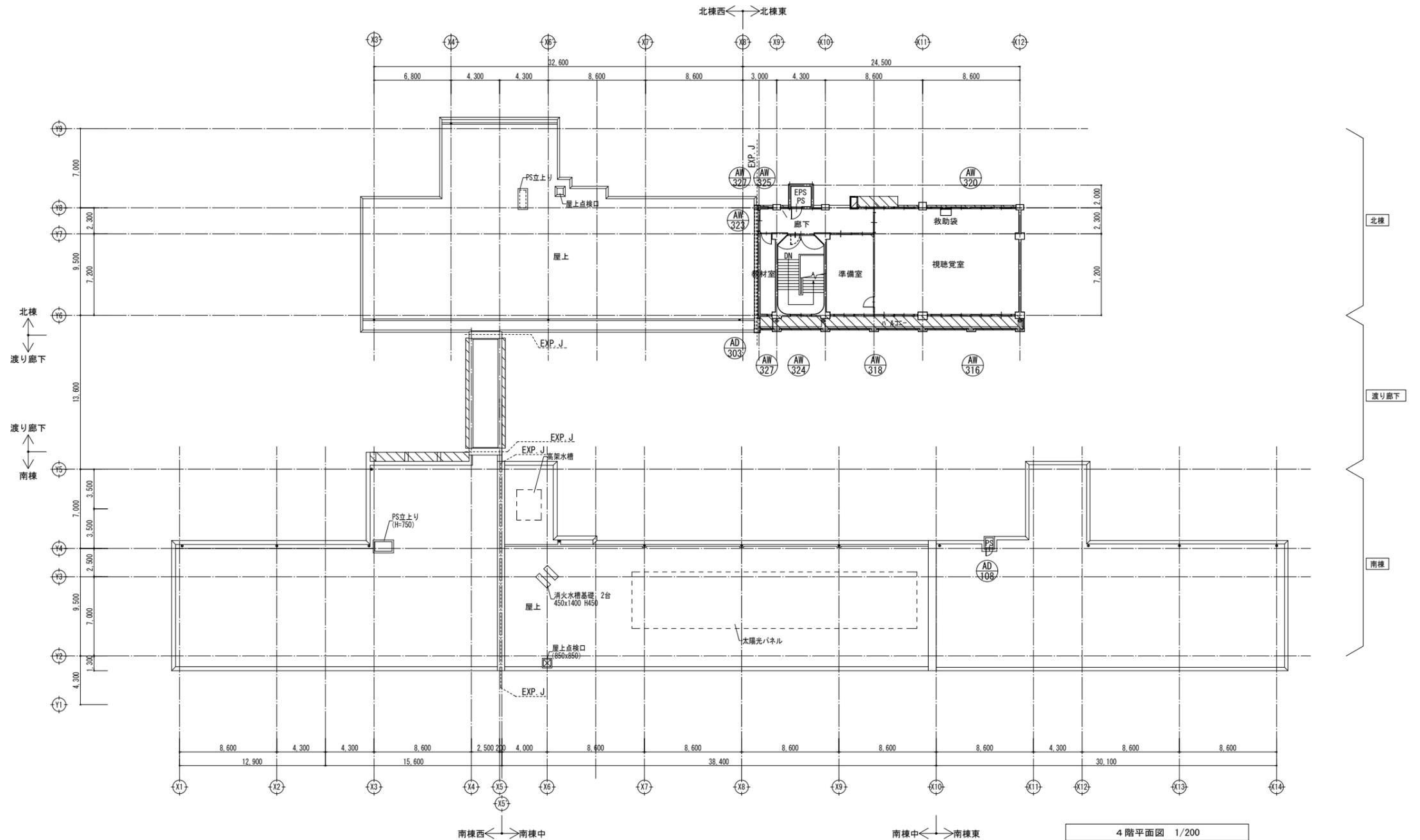
3階平面図 1/200

改修凡例			
改修	改修範囲	改修対象	
改修		パネル改修 底改修	防水改修
		鉄骨階段改修	塗装改修

改修建具	
	レジスターガラー(2階以上) : 水切りのみ撤去(ガラー残置)の上、 補修(プレート塞ぎ)
	レジスターガラー(1階) : ガラー撤去の上、補修(CB塞ぎ)
	縦樋撤去新設
	通気管撤去



屋階平面図 1:200



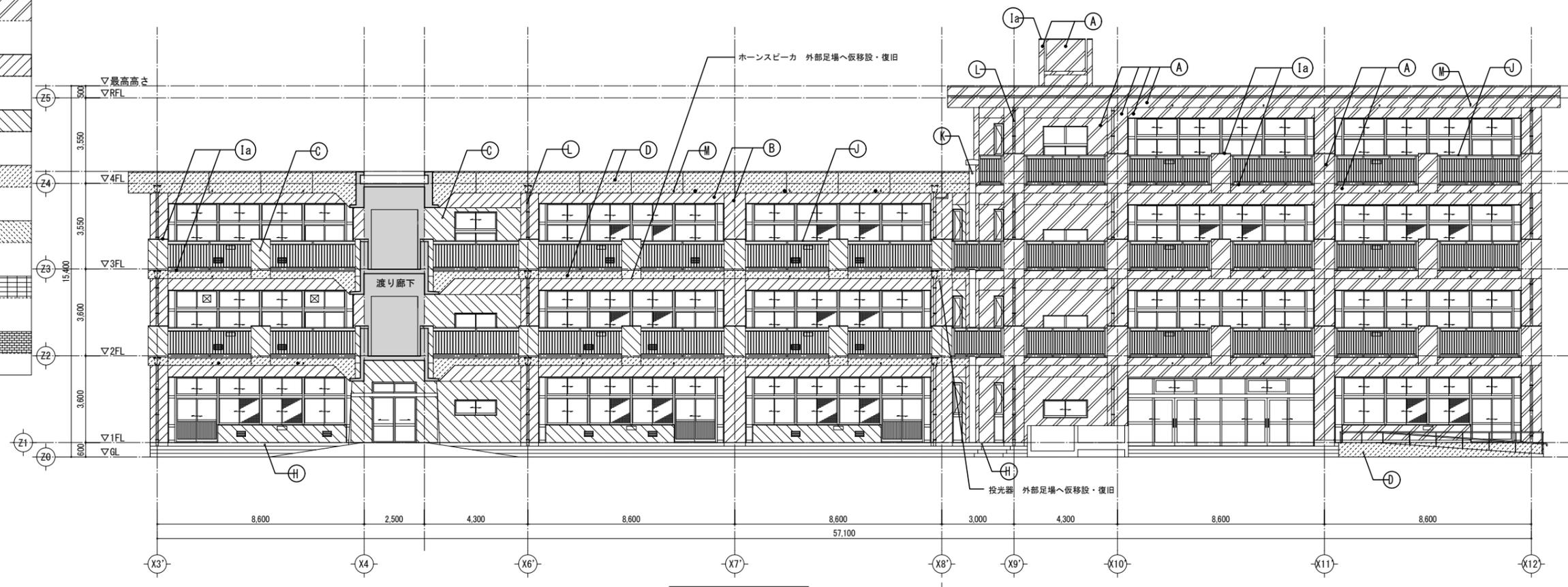
4階平面図 1/200

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所 設計
 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
 名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL (052) 618-8211 FAX (052) 618-8210
 管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

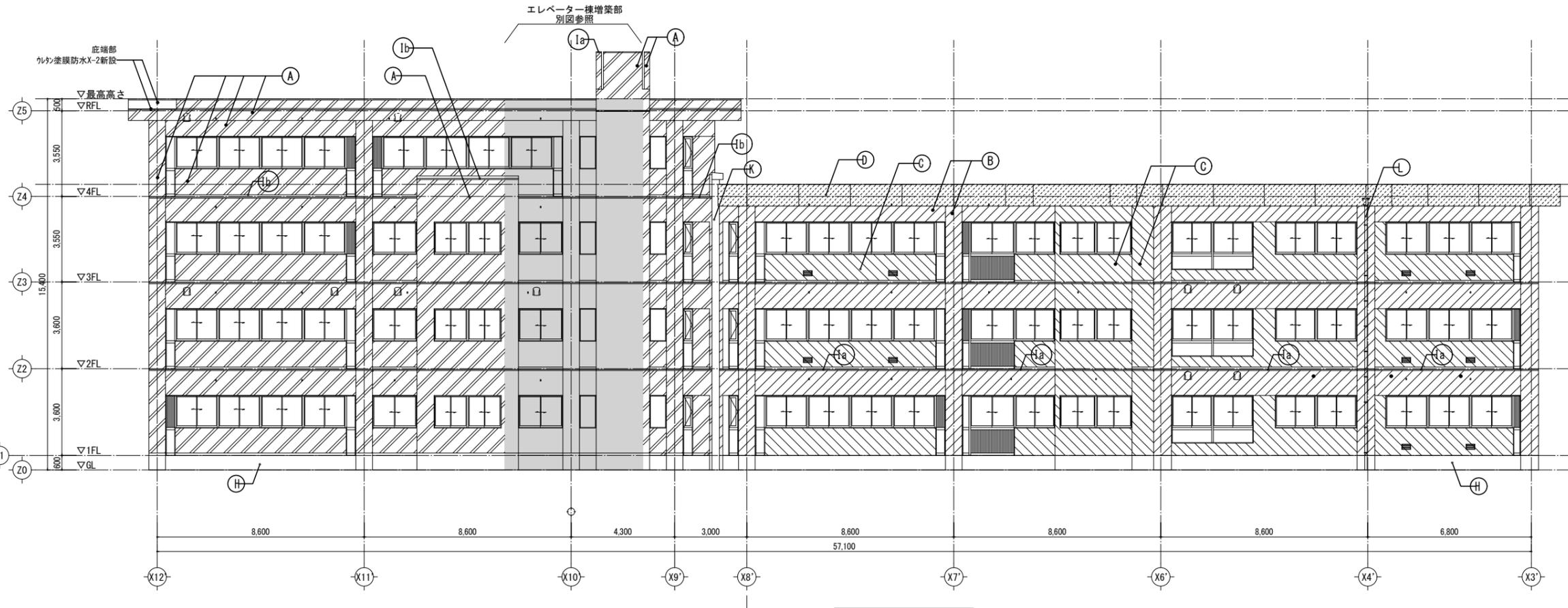
整理番号	縮尺	安城北部小学校校舎改修第2期及び保全主体工事 4階・屋根階平面図・建具キープラン	NO. G-05
年月日	A1 1/200		
	A3 1/400		

外部仕上 凡例		アスベスト含有建材を示す	
A	改修前	打放し補修 複層塗材吹付E(水性)凹凸模様	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設	
B	改修前	コンクリート打放し 77シリコン吹付	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設	
C	改修前	モルタル毛引 77シリコン吹付	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設	
D	改修前	コンクリート打放し	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設	
E	改修前	ALC 77シリコン吹付	
	改修後	水洗い、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設	
F	改修前	CB横 77シリコン吹付	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材E(シリコンコート) 新設	
G	改修前	小口タイル貼	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水 新設 (大関化学クリアコートeco同等品)	
H	改修前	犬走り: モルタル	
	改修後	既設のまま	
I	改修前	a: 防水モルタル b: 防水モルタルの上 複層塗材吹付E(水性)	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設(立上りH100共)	
J	改修前	77手摺	
	改修後	水洗い、支柱面: シリカ 新設(PU2) (※ウレタン塗膜防水施工前に新設)	
K	改修前	EXP. JdA-	
	改修後	既設のまま	
L	改修前	縦樋 VP100φ OP(SUS支持金物共) 撤去(全数) (南棟南側のみ75φ) 飾り樋共	
	改修後	縦樋: カ-VP 100φ(SUS支持金物共) 新設 (南棟南側のみ75φ) 飾り樋共	
M	改修前	換気パイプ 50φ	
	改修後	DP塗替	



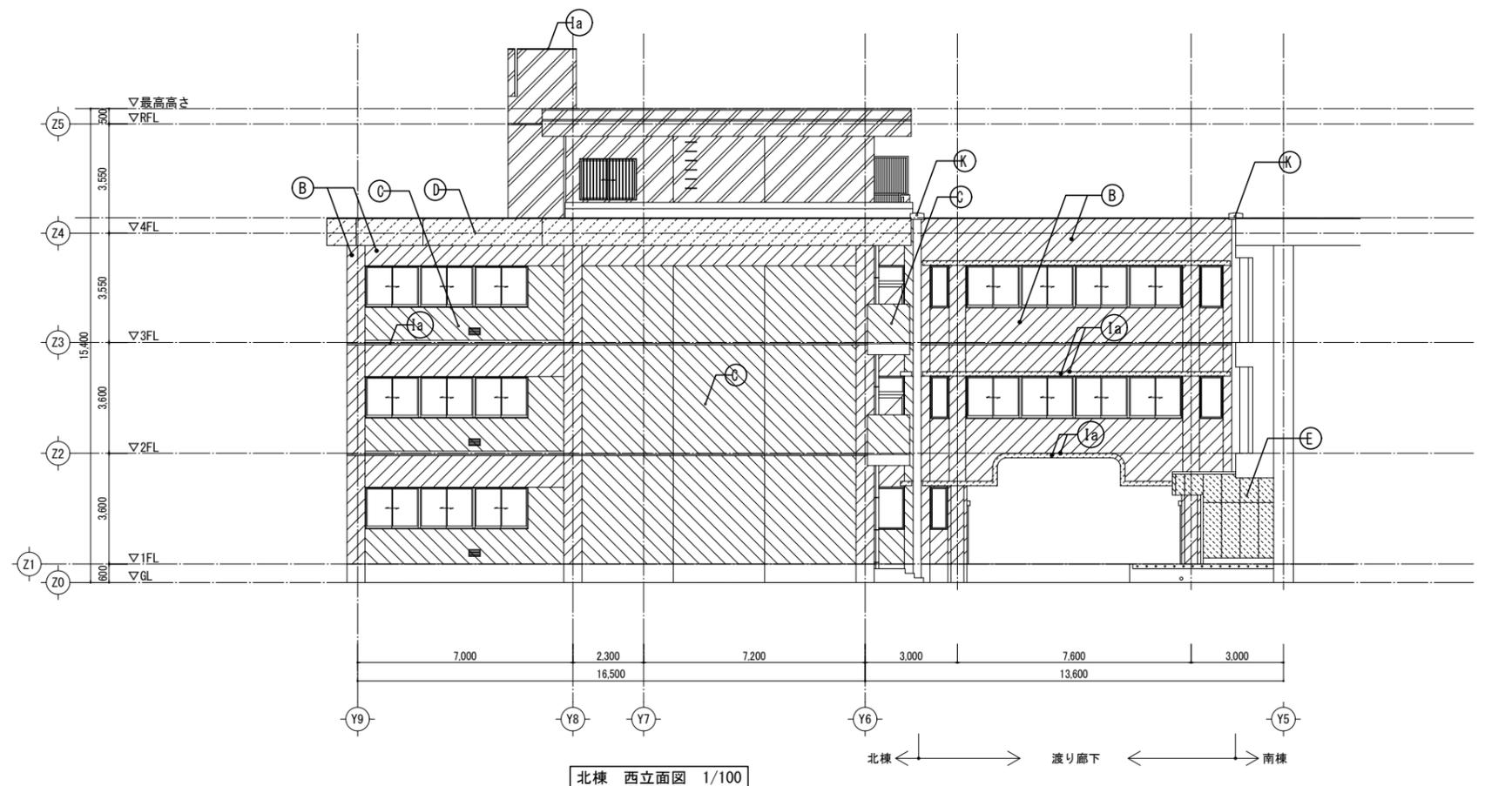
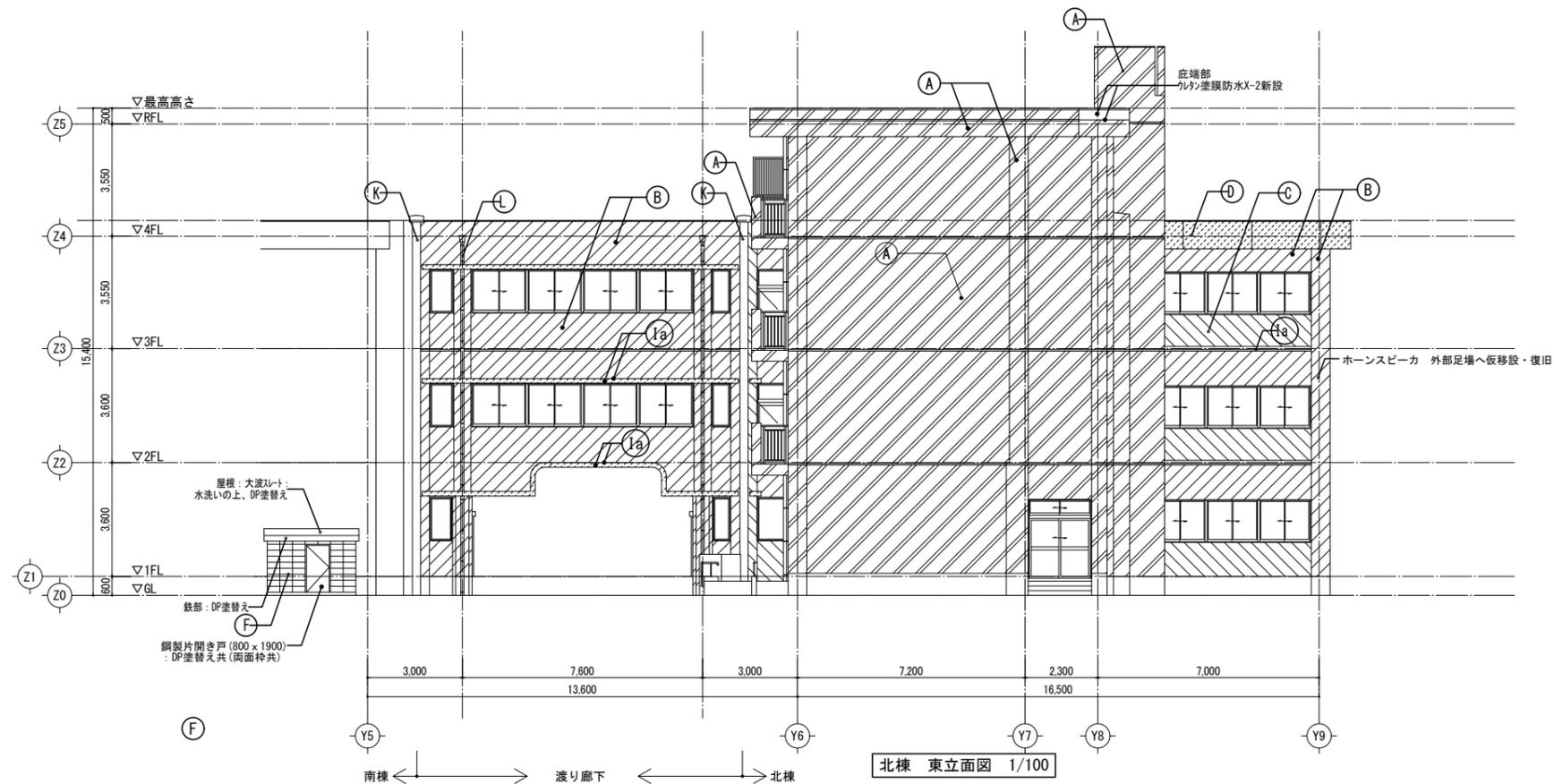
北棟 南立面図 1/100

- 注記
1. 目地部及びサッシ部は、シーリング 打替(PU-2)とする。
 2. ガラスは、ガラス止めシーリング 打替(SR-1) (両面)とする。
また、ガラス全面カッティングを行うこと。
 3. カッティング・浮き・欠損部分等の数量については事前に監督員に報告して確認を受けること。
 4. 外壁補修出来形施工報告書を提出すること。
 5. 施工方法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督員に提出し承諾を得ること。
 6. 外壁補修にあたっては、事前の調査を行い適切な補修を行うこと。図面に記載されていない部分についても適切な補修を行うこと。(数量は劣化調査の結果を参考とする。)
 7. 既設室外機は、養生した上で外壁補修を行うこと。
 8. 耐候性塗料DP塗りの等級は1級(フッ素)とする。
 9. 水洗いは15Mpaとする。

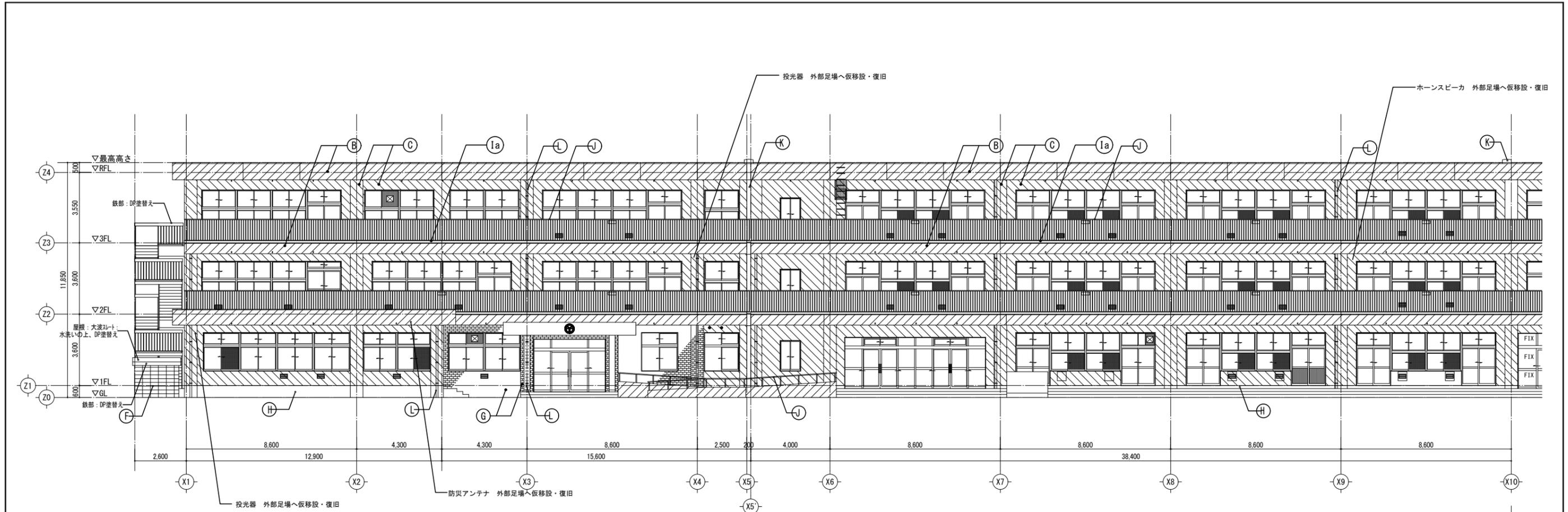


北棟 北立面図 1/100

外部仕上 凡例		アスベスト含有建材を示す
A	改修前	打放し補修 複層塗材付E(水性)凹凸模様
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
B	改修前	コンクリート打放し 7ヶ所引吹付
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
C	改修前	モルタル毛引 7ヶ所引吹付
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
D	改修前	コンクリート打放し
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
E	改修前	ALC 7ヶ所引吹付
	改修後	水洗い、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
F	改修前	CB積 7ヶ所引吹付
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材E(シリコンフコート) 新設
G	改修前	小口タイル貼
	改修後	水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水 新設 (大園化学クリアコートeco同等品)
H	改修前	犬走り: モルタル
	改修後	既設のまま
I	改修前	a: 防水モルタル b: 防水モルタルの上 複層塗材付E(水性)
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、 カネカ塗膜防水密着工法X-2 新設(立上りH100共)
J	改修前	7ヶ所手摺
	改修後	水洗い、支柱周囲「シーリング」新設(PU2) (※カネカ塗膜防水施工前に新設)
K	改修前	EXP. Jかん
	改修後	既設のまま
L	改修前	縦樋 VP100φ DP(SUS支持金物共) 撤去(全数) (南棟南側のみ75φ) 飾り掛共
	改修後	縦樋: 3ヶ所 VP 100φ (SUS支持金物共) 新設 (南棟南側のみ75φ) 飾り掛共
M	改修前	換気ハッチ 50φ
	改修後	DP塗替



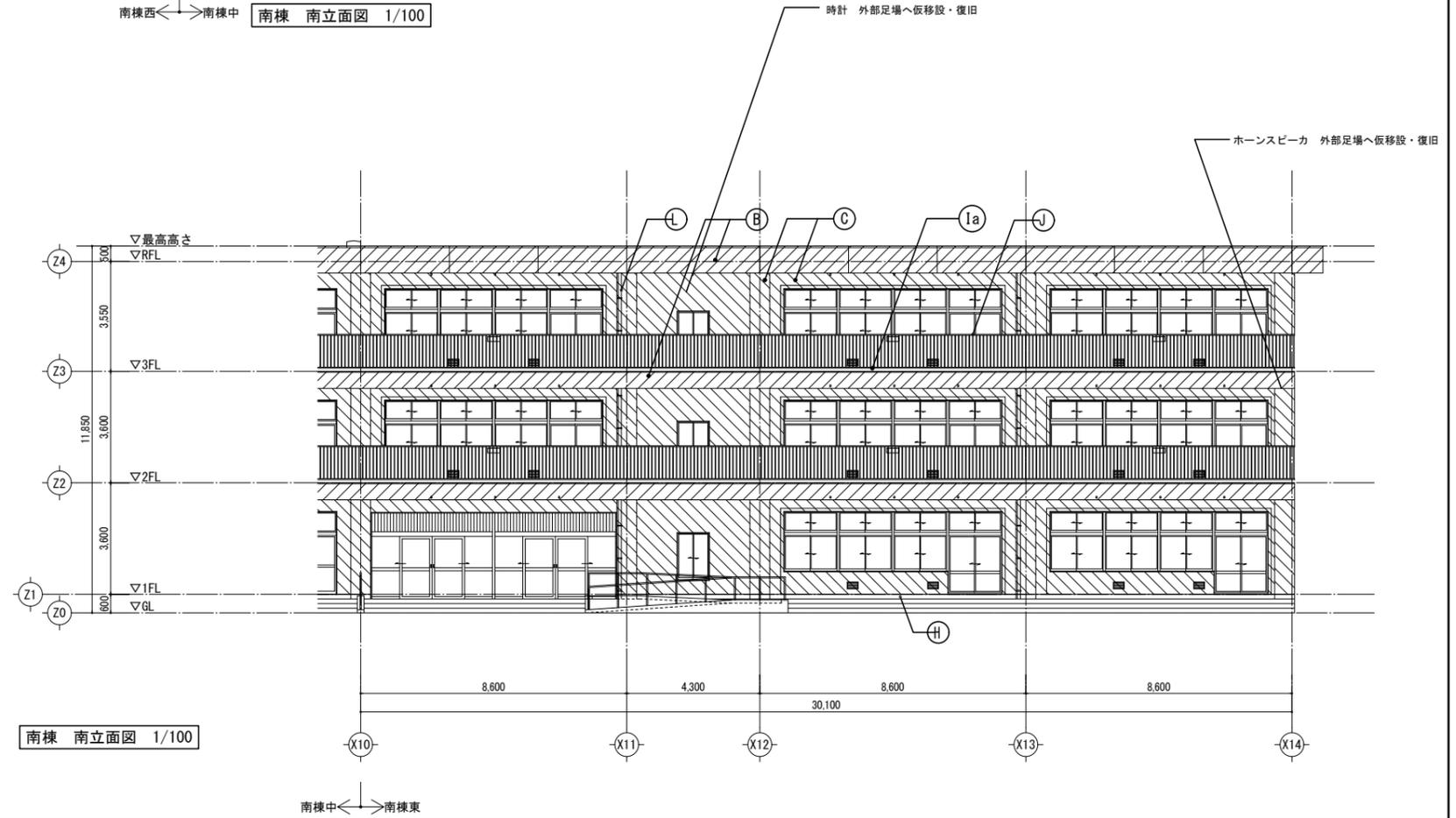
- 注記)
1. 目地部及びサッシ部は、シーリング打替(PU-2)とする。
 2. ガラスは、ガラス止めシーリング打替(SR-1)(両面)とする。
また、ガラス全面クリーニングを行うこと。
 3. クラック・浮き・欠損部分等の数量については事前に監督員に報告して確認を受けること。
 4. 外壁補修出来形施工報告書を提出すること。
 5. 施工方法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督員に提出し承諾を得ること。
 6. 外壁補修にあたっては、事前の調査を行い適切な補修を行うこと。図面に記載されていない部分についても適切な補修を行うこと。(数量は劣化調査の数量を参考とする。)
 7. 既設室外機は、養生した上で外壁補修を行うこと。
 8. 耐候性塗料DP塗りの等級は1級(フッ素)とする。
 9. 水洗いは15Mpaとする。



外部仕上 凡例		アスベスト含有建材を示す
A	改修前	打放し補修 複層塗材吹付E(水性)凹凸模様
A	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンアコート) 新設
B	改修前	コンクリート打放し 7mmシリコン吹付
B	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンアコート) 新設
C	改修前	モルタル引 7mmシリコン吹付
C	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンアコート) 新設
D	改修前	コンクリート打放し
D	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンアコート) 新設
E	改修前	ALC 7mmシリコン吹付
E	改修後	水洗い、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンアコート) 新設
F	改修前	CB積 7mmシリコン吹付
F	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材E(シリコンアコート) 新設
G	改修前	小口タイル貼
G	改修後	水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水 新設 (大関化学クリアコートeco同等品)
H	改修前	犬走り: モルタル
H	改修後	既設のまま
I	改修前	a: 防水モルタルゴテ b: 防水モルタルゴテの上 複層塗材吹付E(水性)
I	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、ケレン塗膜防水密着工法X-2 新設(立上りH100共)
J	改修前	7mm手摺
J	改修後	水洗い、支柱周囲: シーリング 新設 (PU2) (※ケレン塗膜防水施工前に新設)
K	改修前	EXP. Jbn-
K	改修後	既設のまま
L	改修前	縦樋 VP100φ OP (SUS支持金物共) 撤去(全数) (南棟南側のみ75φ) 飾り樹共
L	改修後	縦樋: 好-VP 100φ (SUS支持金物共) 新設 (南棟南側のみ75φ) 飾り樹共
M	改修前	換気パイプ 50φ
M	改修後	DP塗替

- 注記)
1. 目地部及びサッシ部は、シーリング 打替 (PU-2) とする。
 2. ガラスは、ガラス止めシーリング 打替 (SR-1) (両面) とする。また、ガラス全面クリーニングを行うこと。
 3. クラック: 浮き・欠損部分等の数量については事前に監督員に報告して確認を受けること。
 4. 外壁補修出来形施工報告書を提出すること。
 5. 施工方法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督員に提出し承諾を得ること。
 6. 外壁補修にあたっては、事前の調査を行い適切な補修を行うこと。図面に記載されていない部分についても適切な補修を行うこと。(数量は劣化調査の数量を参考とする。)
 7. 既設室外機は、養生した上で外壁補修を行うこと。
 8. 耐候性塗料DP塗りの等級は1級 (フツ素) とする。
 9. 水洗いは15Mpaとする。

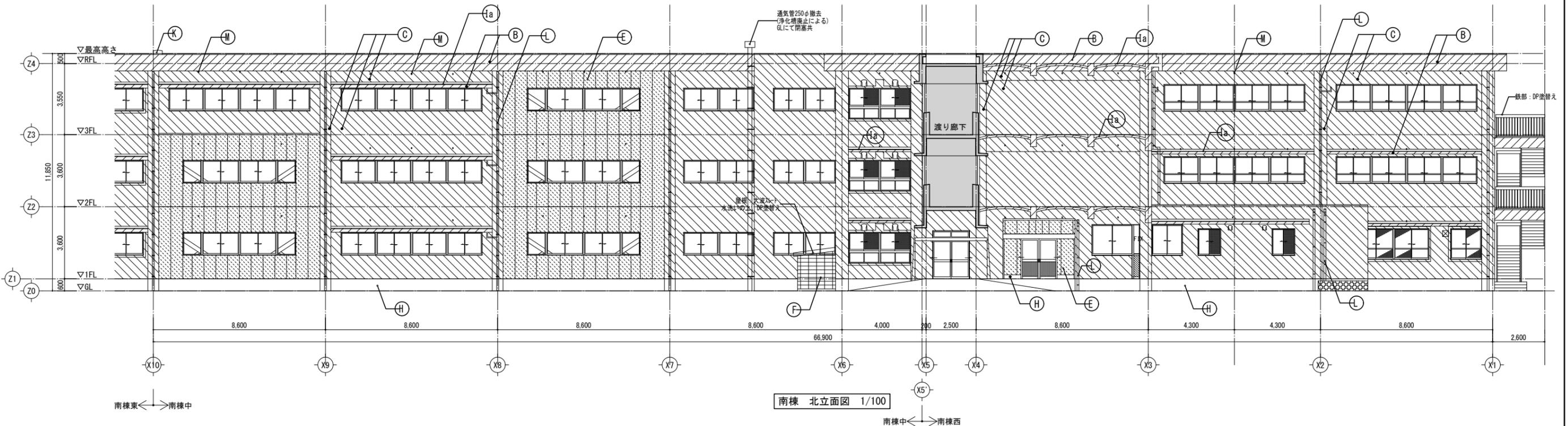
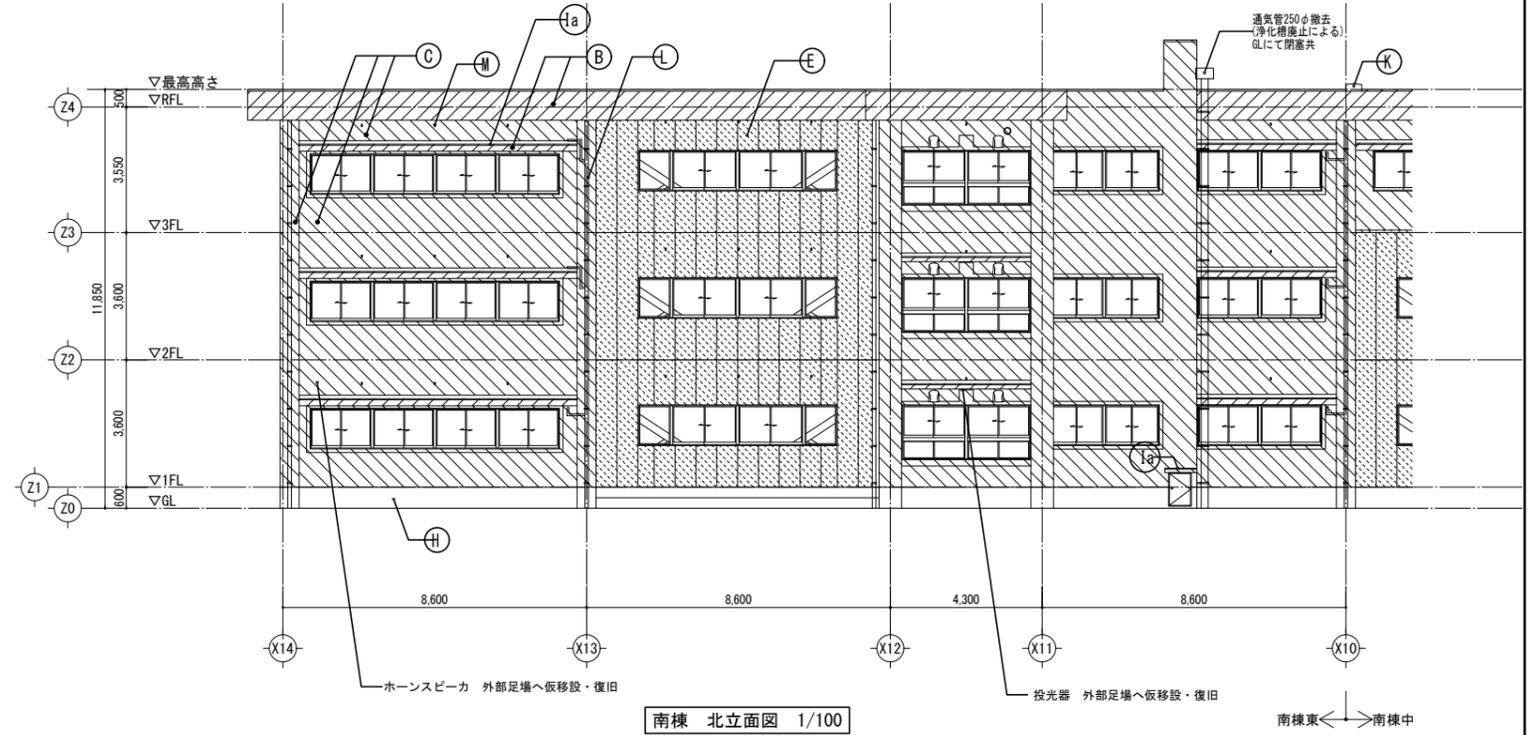
南棟西 ← 南棟中 南棟 南立面図 1/100

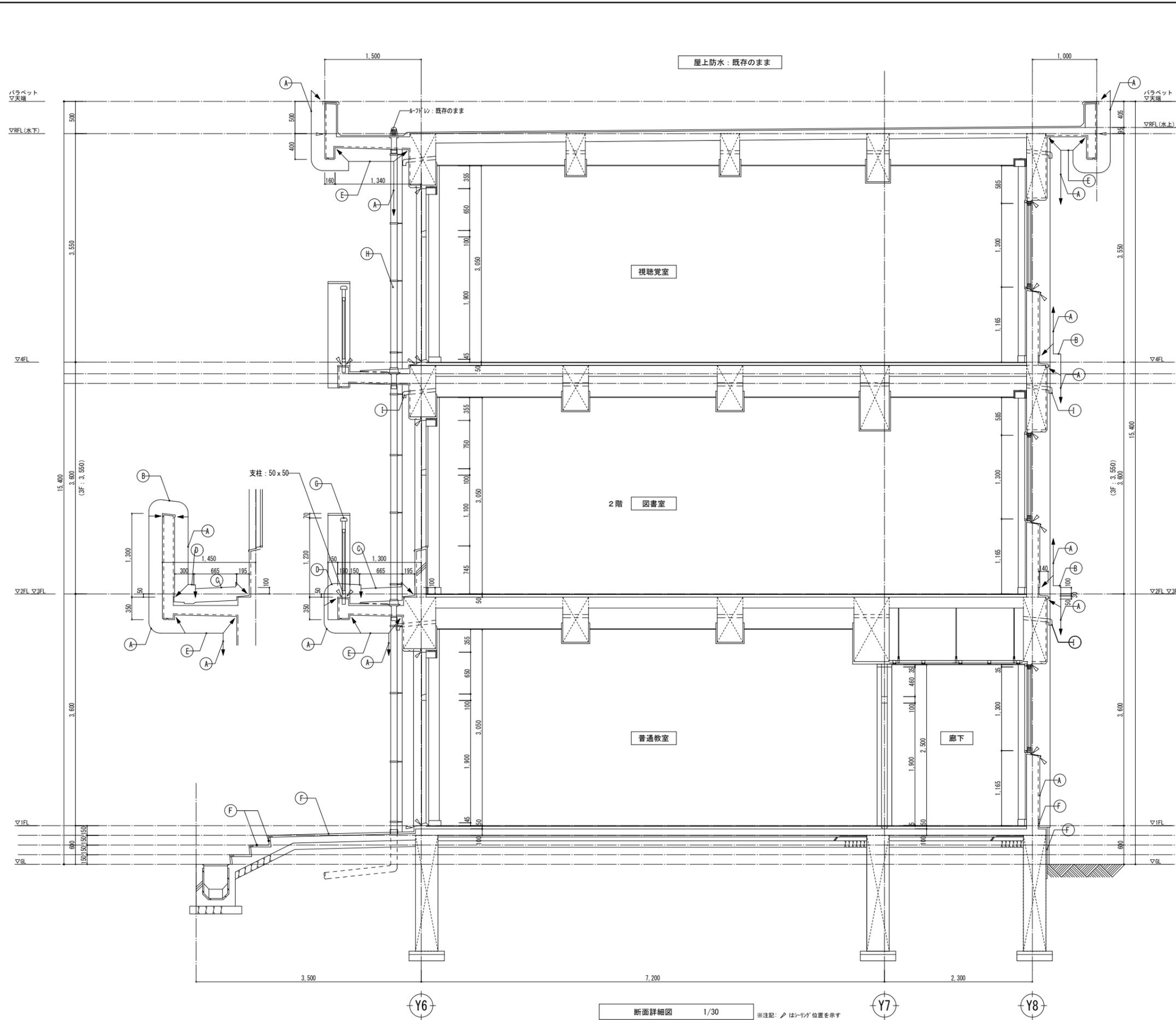


南棟 南立面図 1/100

外部仕上 凡例		アスベスト含有建材を示す
A	改修前 改修後	打放し補修 複層塗材吹付E(水性凹凸模様) 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
B	改修前 改修後	コンクリート打放し 77シリコン吹付 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
C	改修前 改修後	珪砂刷毛引 77シリコン吹付 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
D	改修前 改修後	コンクリート打放し 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
E	改修前 改修後	ALC 77シリコン吹付 水洗い、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
F	改修前 改修後	CB積 77シリコン吹付 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材E(シリコンフコート) 新設
G	改修前 改修後	小口タイル貼 水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水 新設 (大関化学クリアコートeco同等品)
H	改修前 改修後	犬走り:珪砂金コ 既設のまま
I	改修前 改修後	a:防水珪砂金コ b:防水珪砂金コの上 複層塗材吹付E(水性) 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設(立上りH100共)
J	改修前 改修後	77手摺 水洗い、支柱周囲「シーリング」新設(PU2) (※ウレタン塗膜防水施工前に新設)
K	改修前 改修後	EXP. Jかん 既設のまま
L	改修前 改修後	縦樋 VP100φ OP(SUS支持金物共) 撤去(全数) (南棟南側のみ75φ)飾り掛共 縦樋: 77-VP 100φ(SUS支持金物共) 新設 (南棟南側のみ75φ)飾り掛共
M	改修前 改修後	換気パイプ 50φ DP塗替

注記)
 1. 目地部及びびつ部は、シーリング打替(PU-2)とする。
 2. カラスは、かみ止めシーリング打替(SR-1)(両面)とする。
 また、かみ止め全面「コーキング」を行うこと。
 3. カラス・浮き・欠損部分等の数量については事前に監督員に報告して確認を受けること。
 4. 外壁補修出来形施工報告書を提出すること。
 5. 施工方法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督員に提出し承諾を得ること。
 6. 外壁補修にあたっては、事前の調査を行い適切な補修を行うこと。図面に記載されていない部分についても適切な補修を行うこと。(数量は劣化調査の数量を参考とする。)
 7. 既設窓外機は、養生した上で外壁補修を行うこと。
 8. 耐候性塗料DP塗りの等級は1級(フッ素)とする。
 9. 水洗いは15Mpaとする。

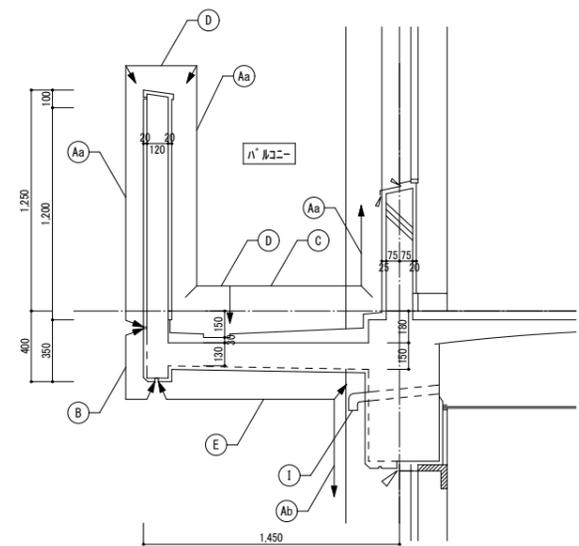
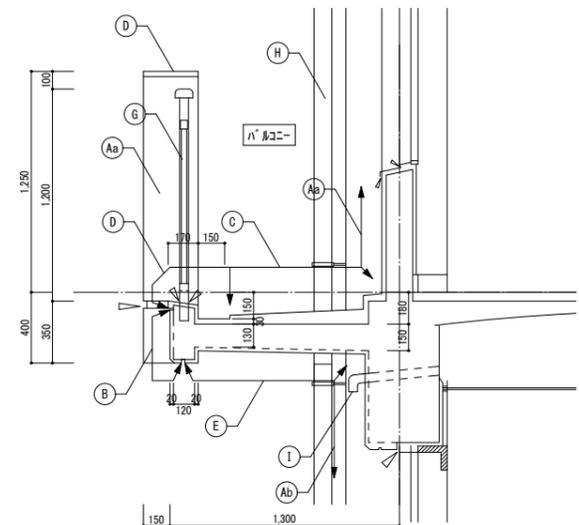
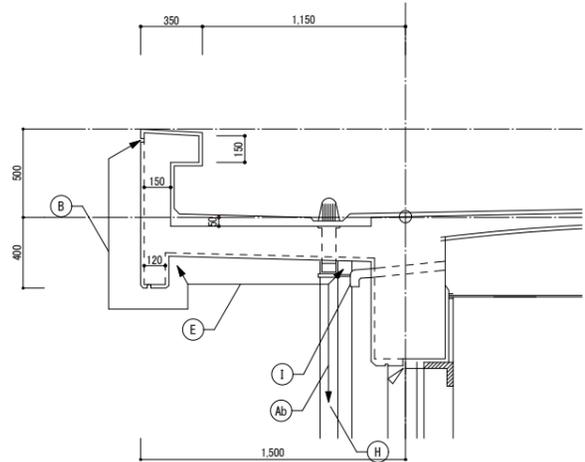




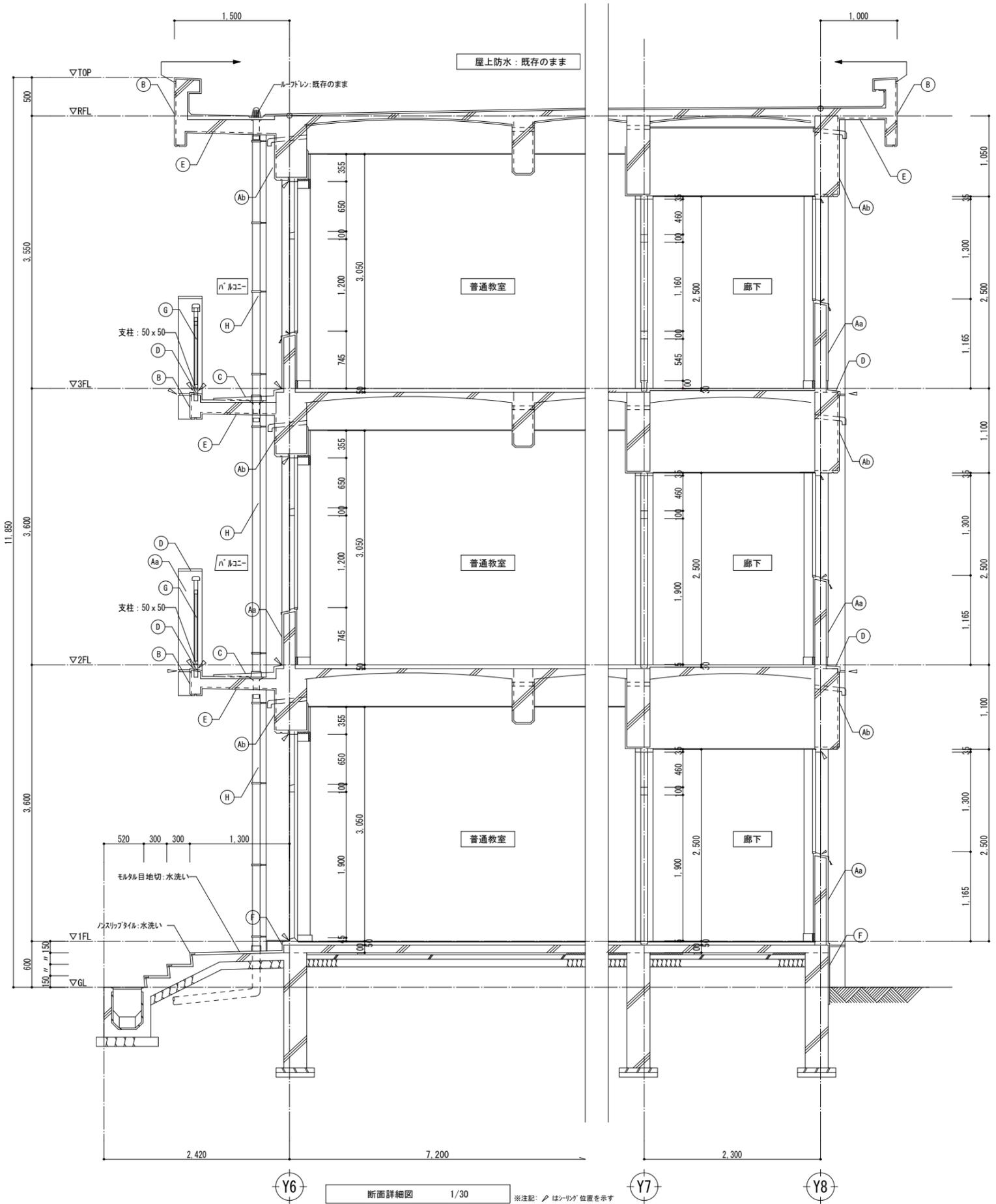
断面詳細図 1/30

※注記: / はシリング位置を示す

外部仕上 凡例		アスベスト含有建材を示す
A	改修前	打放し補修 複層塗材吹付E(水性)凹凸模様
A	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコンアコート) 新設
B	改修前	防水珪砂金ゴテ上 複層塗材吹付E(水性)
B	改修後	高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、珪砂塗膜防水密着工法X-2 新設
C	改修前	防水珪砂金ゴテ目地切
C	改修後	高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、珪砂塗膜防水密着工法X-2防汚仕様 新設
D	改修前	防水珪砂金ゴテ
D	改修後	高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、珪砂塗膜防水密着工法X-2 新設
E	改修前	コクリト打放し目地切 複層塗材吹付E(水性)凹凸模様
E	改修後	剥離部、劣化部補修の上、シリコンアコート 新設
F	改修前	珪砂金ゴテ
F	改修後	既設のまま
G	改修前	7ö手摺
G	改修後	水洗い、支柱周囲: シリング 新設(PU-2) (※珪砂塗膜防水施工前に新設)
H	改修前	縦樋 VP100φ OP(SUS支持金物共) 撤去(全数)
H	改修後	縦樋: 鈦-VF 100φ(SUS支持金物共) 新設
I	改修前	換気ハブ 50φ
I	改修後	DP塗替

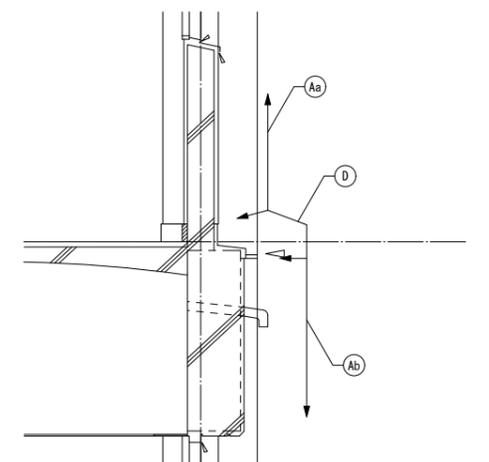
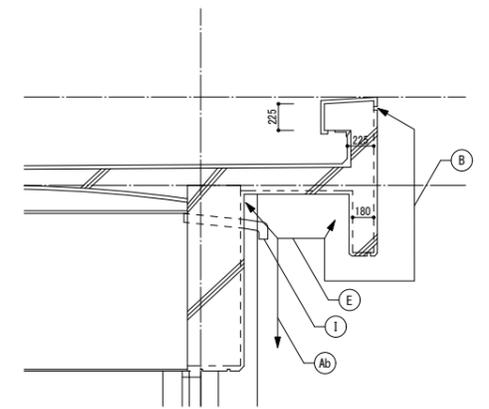


ハコベツ、手摺詳細図 1/20



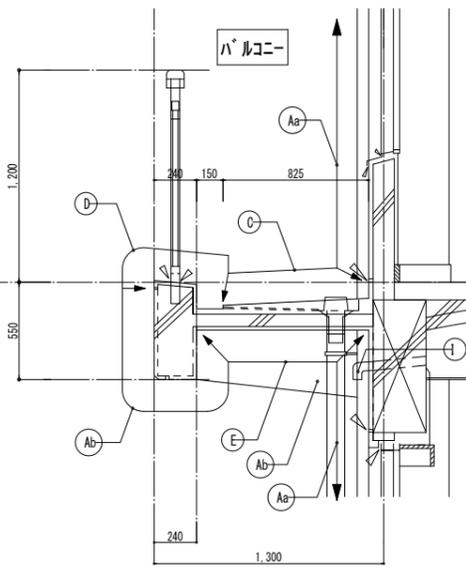
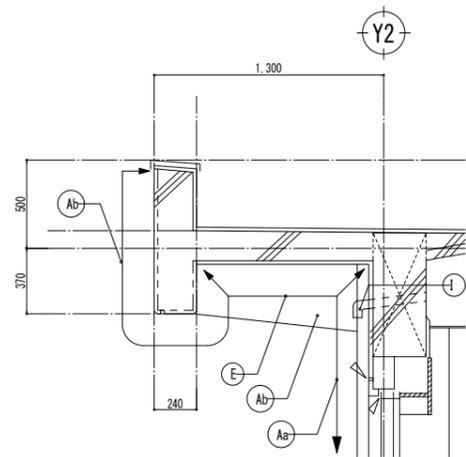
断面詳細図 1/30

※注記: / はシロアリ位置を示す

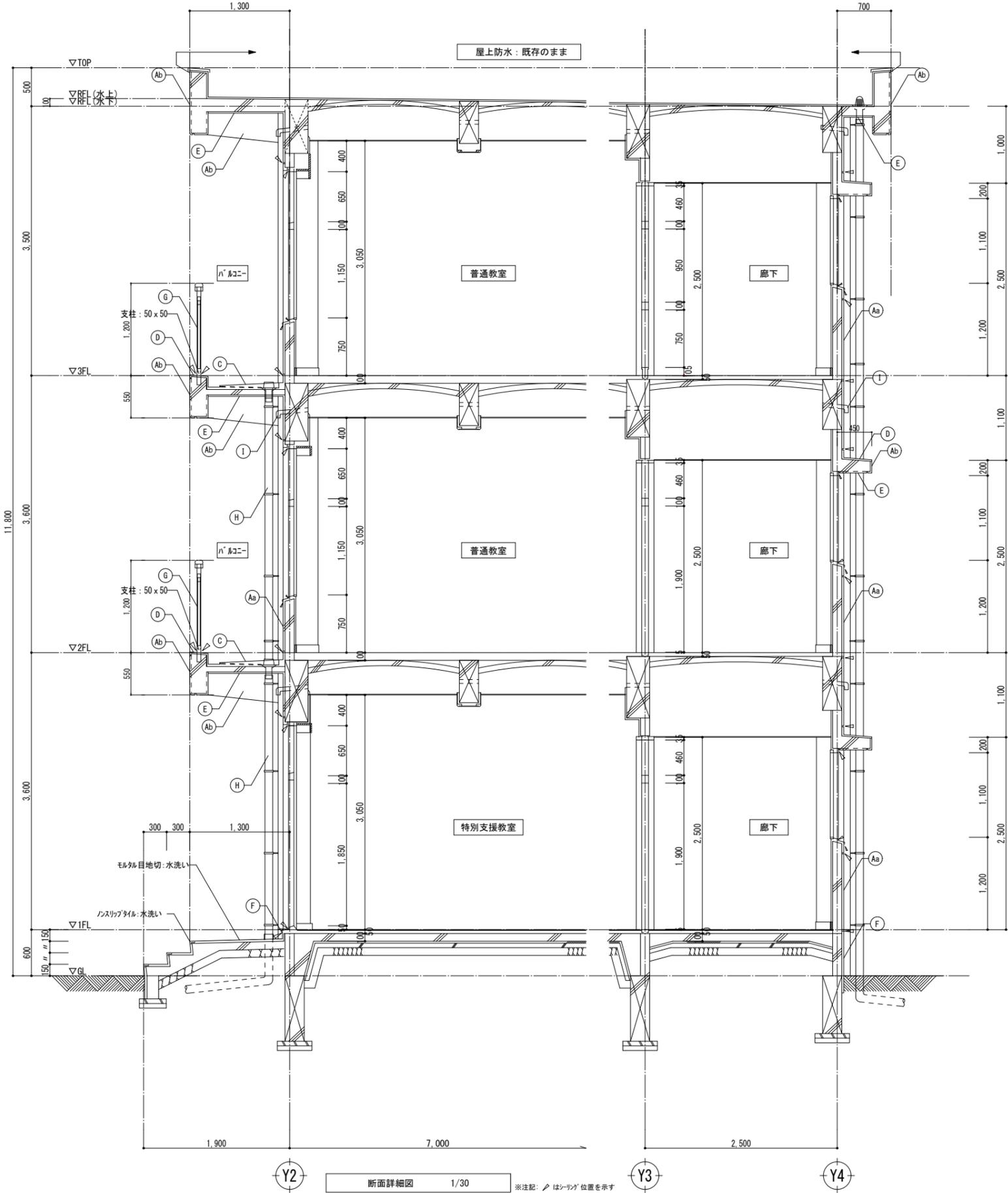


ハコベツ、外壁詳細図 1/20

外部仕上 凡例	
(A)	改修前 a: 珪藻土打放し 7カリシ吹付 改修後 珪藻土打放し 7カリシ吹付 b: コンクリート打放し 7カリシ吹付 改修後 高圧洗浄、下地調整材(G-1)の上、 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設
(B)	改修前 コンクリート打放し 改修後 高圧洗浄、下地調整材(G-1)の上、 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設
(C)	改修前 防水珪藻土目地切 改修後 高圧洗浄、下地調整材(ネリマゼント)の上、 ウレタン塗膜防水密着工法X-2防汚仕様 新設
(D)	改修前 防水珪藻土 改修後 高圧洗浄、下地調整材(ネリマゼント)の上、 ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設
(E)	改修前 コンクリート打放し 7カリシ吹付 改修後 剥離部、劣化部補修の上、シリコンコート 新設
(F)	改修前 珪藻土 改修後 既設のまま
(G)	改修前 7カリシ 改修後 水洗い、支柱周囲: シール 新設(PU-2) (※ウレタン塗膜防水施工前に新設)
(H)	改修前 縦樋 VP100φ OP(SUS支持金物共) 撤去(全数) 鋼鉄製中継ドレン(100φ) 改修後 縦樋: 新VP 100φ(SUS支持金物共) 新設 鋼鉄製中継ドレン(100φ): ノンレジン樹脂塗料塗替え
(I)	改修前 換気パイプ 50φ 改修後 DP塗替

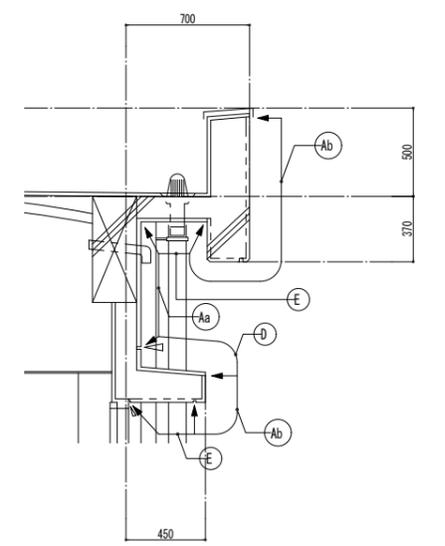


ハコ、手摺詳細図 1/20



断面詳細図 1/30

※注記: / はソリッド位置を示す



ハコ、手摺詳細図 1/20

外部仕上 凡例	
(A)	改修前 a: 珪藻土毛引 アクリル吹付 b: コンクリート打放し アクリル吹付 改修後 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコンアブコート) 新設
(B)	改修前 コンクリート打放し 改修後 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、防水形複層塗材E(シリコンアブコート) 新設
(C)	改修前 防水珪藻土目地切 改修後 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、珪藻土塗膜防水密着工法X-2防汚仕様 新設
(D)	改修前 防水珪藻土目地 改修後 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、珪藻土塗膜防水密着工法X-2 新設
(E)	改修前 コンクリート打放し アクリル吹付 改修後 剥離部、劣化部補修の上、シリコンアブコート 新設
(F)	改修前 珪藻土目地 改修後 既設のまま
(G)	改修前 珪藻土手摺 改修後 水洗い、支柱周囲にシーリング 新設(PU-2) (※珪藻土塗膜防水施工前に新設)
(H)	改修前 珪藻土中継ドレン(100φ) OP(SUS支持金物共) 撤去(全数) 改修後 珪藻土中継ドレン(100φ) OP(SUS支持金物共) 新設
(I)	改修前 換気ハコ 50φ 改修後 DP塗替

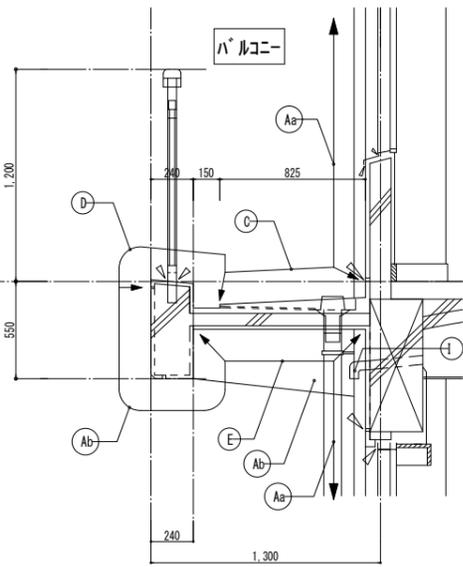
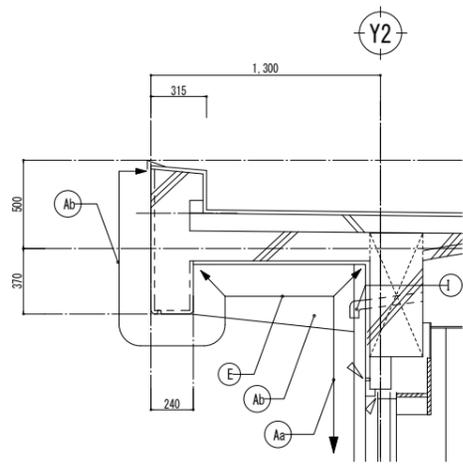
・	・
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男建築設計事務所
 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
 名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL (052) 618-8211 FAX (052) 618-8210
 管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

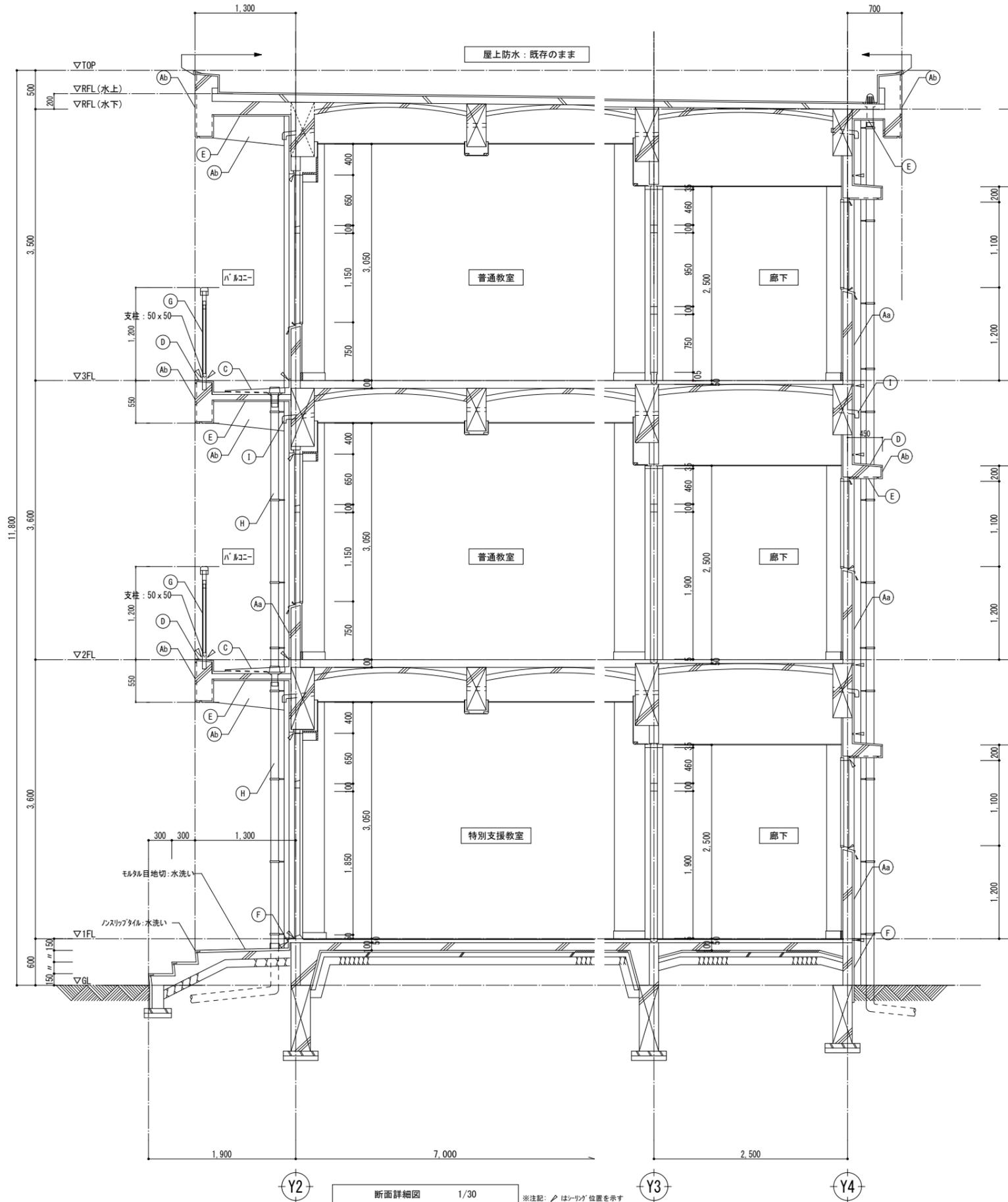
設計
 整理番号
 年月日

縮尺
 A1 1/20,30
 A3 1/40,60

安城北部小学校校舎改修第2期及び保全主体工事
 南棟東 断面詳細図(改修前後)
 NO. G-13

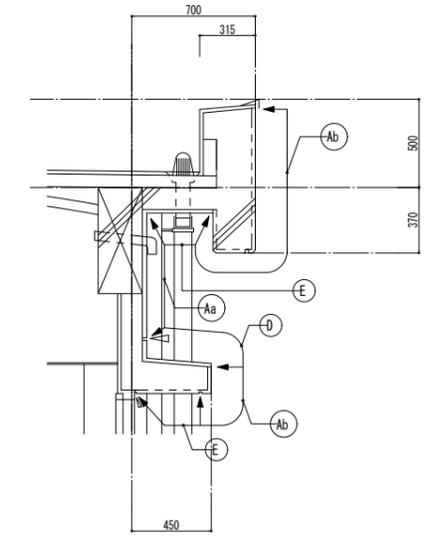


手摺、手摺詳細図 1/20



断面詳細図 1/30

※注記: △は「リフト」位置を示す



手摺詳細図 1/20

外部仕上 凡例			
A	改修前	a:モルタル毛引 7リットル吹付 b:コンクリート打放し 7リットル吹付	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設	
B	改修前	コンクリート打放し	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、 防水形複層塗材E(シリコンコート) 新設	
C	改修前	防水モルタル目地切	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、 ウルタ塗膜防水密着工法X-2防汚仕様 新設	
D	改修前	防水モルタル目地	
	改修後	高圧洗浄、下地調整材(※リマセメント)の上、 ウルタ塗膜防水密着工法X-2 新設	
E	改修前	コンクリート打放し 7リットル吹付	
	改修後	剥離部、劣化部補修の上、シリコンコート 新設	
F	改修前	モルタル目地	
	改修後	既設のまま	
G	改修前	7R手摺	
	改修後	水洗い、支柱面:シリカ [®] 新設(PU-2) (※外装塗膜防水施工前に新設)	
H	改修前	縦筋:VP100φ(南側75φ) OP(SUS支持金物共) 撤去(全数)	
	改修後	縦筋:縦筋中継:100φ(100φ) 縦筋:縦筋中継:100φ(南側75φ)(SUS支持金物共) 新設 縦筋:縦筋中継:100φ(100φ):フタル樹脂塗料塗替え	
I	改修前	換気パイプ 50φ	
	改修後	DP塗替	

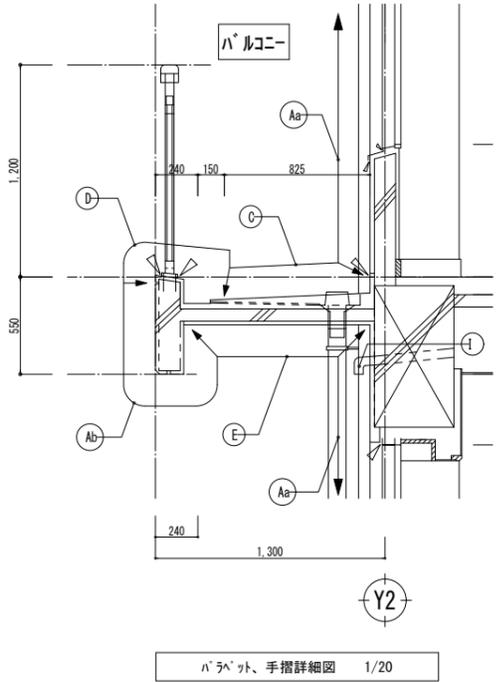
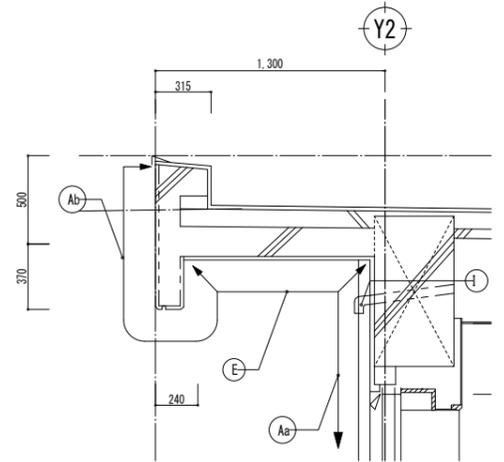
・	・
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男建築設計事務所
 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
 名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL (052)618-8211 FAX (052)618-8210
 管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 早瀬 寛次

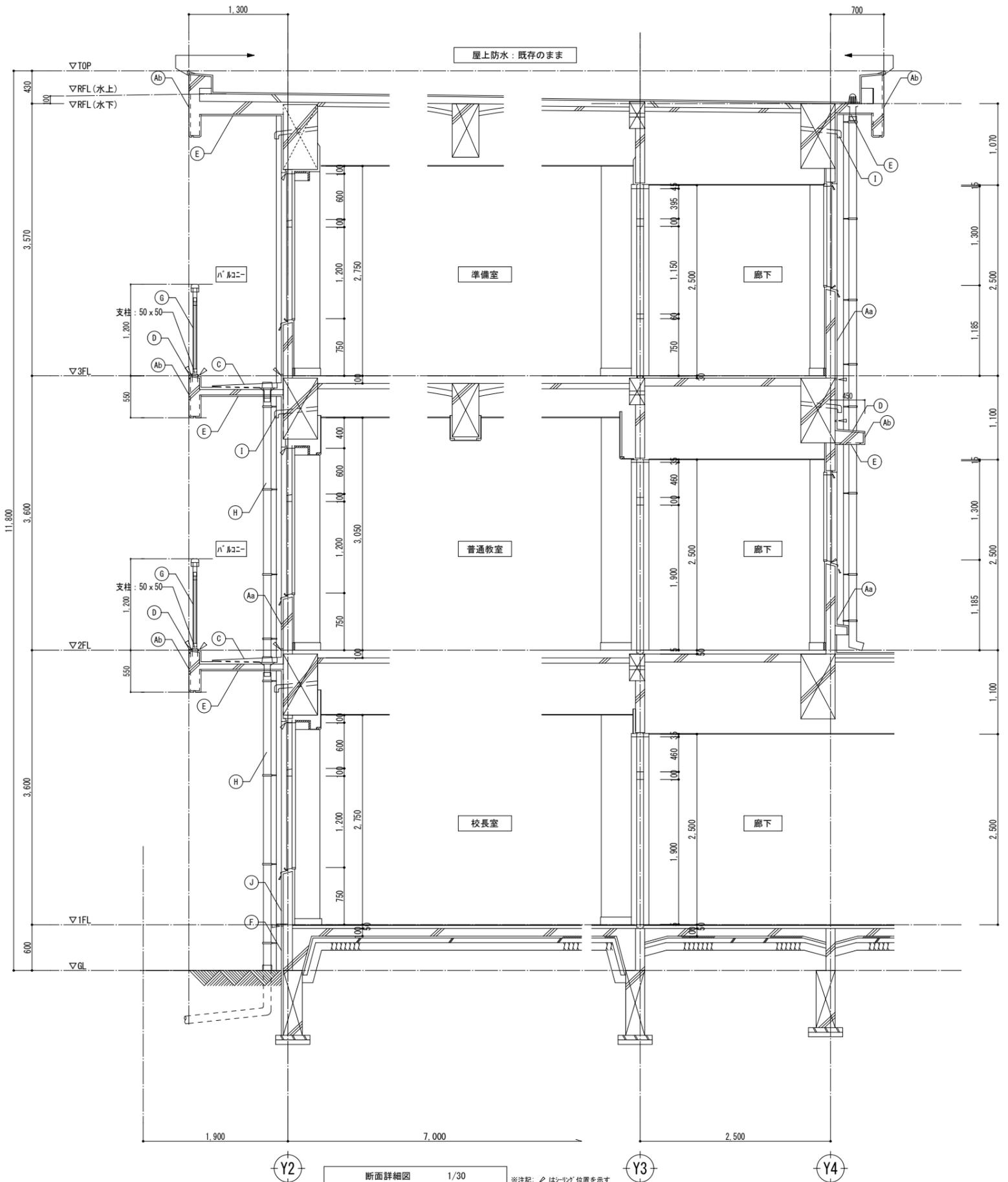
設計
 整理番号
 縮尺
 年月日

縮尺
 A1 1/20,30
 A3 1/40,60

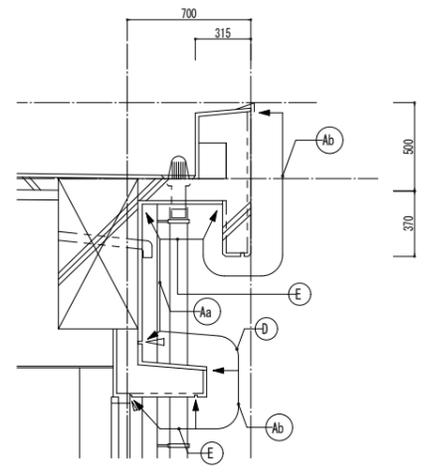
安城北部小学校校舎改修第2期及び保全主体工事
 南棟中 断面詳細図(改修前後)
 NO. G-14



手摺詳細図 1/20



断面詳細図 1/30



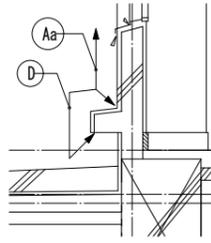
手摺詳細図 1/20

外部仕上 凡例		
A	改修前	a: 珪藻土毛引 アクリリック吹付 b: コンクリート打放し, アクリリック吹付
A	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
B	改修前	コンクリート打放し
B	改修後	高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上、 防水形複層塗材E(シリコンフコート) 新設
C	改修前	防水珪藻土金ゴテ目地切
C	改修後	高圧洗浄、下地調整材(キマセメント)の上、 ウレタン塗膜防水密着工法X-2防汚仕様 新設
D	改修前	防水珪藻土金ゴテ
D	改修後	高圧洗浄、下地調整材(キマセメント)の上、 ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設
E	改修前	コンクリート打放し アクリリック吹付
E	改修後	剥離部、劣化部補修の上、シリコンフコート 新設
F	改修前	珪藻土金ゴテ
F	改修後	既設のまま
G	改修前	7&S手摺
G	改修後	水洗い、支柱周囲: シリコン 新設(PU-2) (※ウレタン塗膜防水施工前に新設)
H	改修前	縦樋 VP100φ(南側75φ) DP(SUS支持金物共) 撤去(全数)
H	改修後	縦樋: 鋼製中継ドレン(100φ) 縦樋: 鋼製中継ドレン(100φ) (SUS支持金物共) 新設 鋼製中継ドレン(100φ): ノンクレード 樹脂塗料塗替え
I	改修前	換気パイプ 50φ
I	改修後	DP塗替
J	改修前	小口タイル貼り
J	改修後	水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水 新設 (大園化学クリアコートeco同等品)

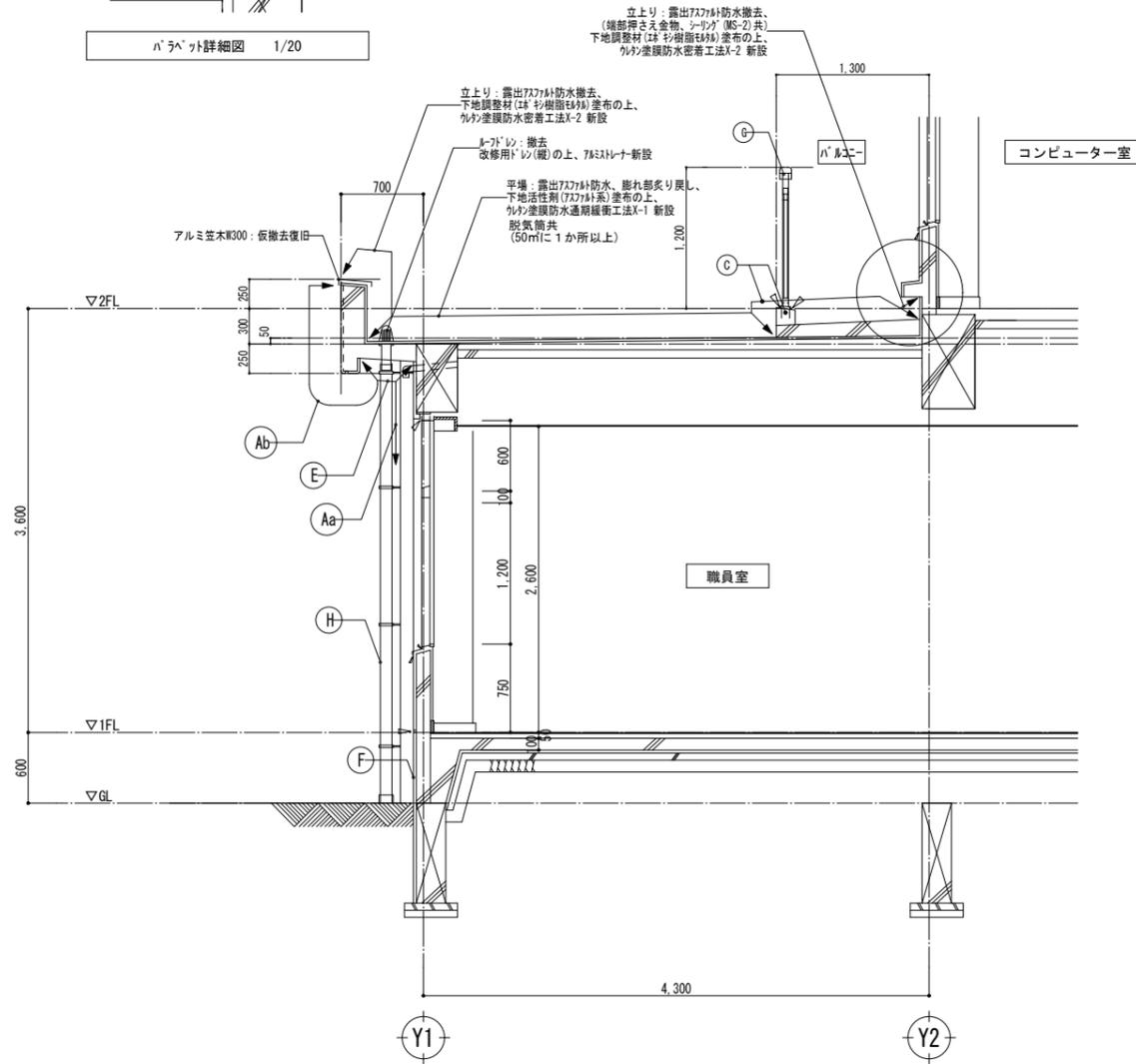
株式会社 市川三千男建築設計事務所
 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
 名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL. (052) 618-8211 FAX (052) 618-8210
 管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

整理番号 縮尺
 年月日 A1 1/20, 30
 A3 1/40, 60

安城北部小学校校舎改修第2期及び保全主体工事
 南棟西 断面詳細図(1) (改修前後)
 NO. 6-15



パレット詳細図 1/20



断面詳細図 1/30

※注記：はシリカ位置を示す

外部仕上 凡例		
A	改修前	a: 珪 矽刷毛引 アクリリック吹付 b: コンクリート打放し アクリリック吹付
	改修後	高圧洗浄、下地調整材 (C-1) の上、 防水形複層塗材E (シリコントップコート) 新設
B	改修前	コンクリート打放し
	改修後	高圧洗浄、下地調整材 (C-1) の上、 防水形複層塗材E (シリコントップコート) 新設
C	改修前	防水珪 矽金ゴテ目地切
	改修後	高圧洗浄、下地調整材 (C-1) の上、 ウレタン塗膜防水密着工法X-2 防汚仕様 新設
D	改修前	防水珪 矽金ゴテ
	改修後	高圧洗浄、下地調整材 (C-1) の上、 ウレタン塗膜防水密着工法X-2 新設
E	改修前	コンクリート打放し アクリリック吹付
	改修後	剥離部、劣化部補修の上、シリコントップコート 新設
F	改修前	珪 矽金ゴテ
	改修後	既設のまま
G	改修前	777手摺
	改修後	水洗い、支柱周囲：シリカ 新設 (PU-2) (※ウレタン塗膜防水施工前に新設)
H	改修前	縦樋 VP100φ (両側75φ) OP (SUS支持金物共) 撤去 (全数) 鎖鉄製中継ドレン (100φ)
	改修後	縦樋：新VP 100φ (両側75φ) (SUS支持金物共) 新設 鎖鉄製中継ドレン (100φ)：ノリ付珪 矽樹脂塗料塗替え
I	改修前	換気パイプ 50φ
	改修後	DP塗替

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
 名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL (052) 618-8211 FAX (052) 618-8210
 管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 専断 貫次

設計

整理番号

縮尺

年月日

A1 1/20, 30
A3 1/40, 60

安城北小学校校舎改修第2期及び保全主体工事

南棟西 断面詳細図 (2) (改修前後)

NO.

G-16